

The Guidebook of Nobeoka SATOYAMA Species

のべおか里山種 ガイドブック

～五ヶ瀬川下流域の里山に生息する野生動植物～

延岡市 SATOYAMA 保全推進会議 編



延岡市





目次

植物	5
哺乳類	21
鳥類	27
両生類・爬虫類	41
昆虫類（チョウ目・トンボ目・コウチュウ目・カメムシ目）	51
貝類	85

のべおか里山種とは

「のべおか里山種」とは、延岡市の里山の生物多様性の指標となる生物種のことを言います。これまで延岡市の自然環境を調査してきた各分野の専門家が、調査結果を基に以下の基準により選定しました。

のべおか里山種 選定基準

- (1) かつて里地・里山に広く生育・生息する普通種であったものの近年急速に減少している種
- (2) 里地・里山を構成するそれぞれの環境タイプにおいて特に高い質の物理的・生物的環境を必要とする種
- (3) 河川と水路、ため池と樹林地、草地と林縁など複数タイプの環境を利用し、それらの環境タイプの連結性が生育・生息に影響をおよぼす種
- (4) 環境の質の劣化に比較的強く、現在でも里地・里山において比較的容易に観察できるもののうち、大型であるなどの理由から認知度が高い種で、一般によく親しまれている種
- (5) 延岡市を代表する種で、その存在が地域の生物多様性保全のシンボルになる種

(1)～(4)については、角谷 拓・須田真一・大谷雅人・西原昇吾・鷺谷いづみ(2009). すこやかな日本の里を指標する生物たち—保全生態学研究室が提案する里地・里山の生物多様性指標種—. 森林環境 2009: 128-137. に示された基準を引用し、新たに(5)を追加した。

まず、これらの選定基準のいずれかに該当し、延岡市の里山の指標種となりうる生物種を各分野で選定しました。次にその生物種がどのような里山環境に生息しているのかを整理しました。里山環境は次のように区分しています。

- 河川（水域，陸域）
- 宅地・公園
- 農地（ため池，水路，湿地，畑，水田）
- 草地
- 森林（林縁，落葉，照葉，植林，クヌギ，竹林，刈跡）

本ガイドブックでは、選定したのべおか里山種の中から、植物 45 種、哺乳類 14 種、鳥類 39 種、両生類・爬虫類 23 種、昆虫類 106 種、貝類 15 種の合計 242 種を紹介しています。

本書の使い方

本ガイドブックでは、選定したのべおか里山種それぞれについて、1種ずつ種名、学名、科名、環境省レッドリスト、宮崎県レッドリスト、選定基準、生育・生息環境、本文（種の解説）、生態写真を掲載しています。本文（種の解説）については、子供でも読むことができるように、すべての漢字に読みがなを付けています。

● 種名
生物種の日本語の名前です。

● 学名
生物種の世界共通の名前です。

● 科名
生物種の属する上位グループの名前です。

● 環境省RL
2017年公表の環境省レッドリストを示しています。

● 選定基準
該当する選定基準を示しています。

● 宮崎県RL
2015年公表の宮崎県レッドリストを示しています。

トノサマガエル アカガエル科 環境省 RL : 準絶滅危惧 宮崎県 RL : 準絶滅危惧

Pelophylax nigromaculatus 選定基準 : 1, 2, 3

河川		宅地公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
○	○		○	○	○		○							

体長はオス約7cm、メス約8cm、オスの体色は黄緑色、メスは灰褐色をしており、体色で雌雄が区別できます。平野から山地の水田や湿地、その周囲の草原等に生息しますが、近年生息数が減っています。産卵は5月から6月で、1卵塊に約3000個の卵が含まれます。



● 生育・生息環境
該当する生育・生息環境に○を付けています。

● 本文
生物種の簡単な特徴などを説明しています。

● 写真
生物種の生態写真です。

環境省レッドリストのカテゴリー

絶滅 (EX)	我が国ではすでに絶滅したと考えられる種	
野生絶滅 (EW)	飼育・栽培下あるいは自然分布域の明らかに外側で野生化した状態でのみ 存続している種	
絶滅危惧種	絶滅危惧Ⅰ類 (CR+EN)	絶滅の危機に瀕している種
	絶滅危惧ⅠA類 (CR)	ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの
	絶滅危惧ⅠB類 (EN)	ⅠA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの
	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	絶滅の危険が増大している種
準絶滅危惧 (NT)	現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種	
情報不足 (DD)	評価するだけの情報が不足している種	
絶滅のおそれのある地域個体群 (LP)	地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの	

延岡市の地形と主な山名

(国土地理院の地理院タイル(色別標高図)を加工して作成)



延岡市の地区名

(市街地周辺は一部省略しています)





1

植 物

写真・文／成迫平五郎

コウホネ

スイレン科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : 絶滅危惧II類

Nuphar japonica

選定基準 : 2, 5

河川		宅地公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
			○	○										

ため池や水路に生えます。太くて白い地下茎があり、水面から抜き出て葉を出します。水面の上に出る葉は楕円形で長さ20cm以上、幅10cm前後、水中の葉は細い三角形をしています。春から秋に黄色の花をつけます。延岡市内にはこのほか、葉のやや小さいオグラコウホネやサイコクヒメコウホネが分布します。北海道南部から本州、四国、九州、朝鮮半島に分布し、延岡市内では、稲葉崎町、大貫町、須佐町、下三輪町に見られます。



セキショウモ

トチカガミ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : 絶滅危惧II類

Vallisneria natans

選定基準 : 1, 2

河川		宅地公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
			○	○										

小さな川や水路、池に生えます。北海道～九州に分布しています。葉は細長く30cm～70cmに達します。川岸がコンクリートで造られたり、水が汚れたりして減少しています。延岡市では北川町家田地区、須佐町、浦城町に自生しています。



ナガエミクリ

ガマ科

環境省 RL : 準絶滅危惧

宮崎県 RL : 絶滅危惧II類

Sparganium japonicum

選定基準 : 4

河川		宅地公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
				○										

小川や水路など、ゆるやかな流れのあるところに生えます。本州～九州、朝鮮半島に分布しています。茎の付け根から枝を出し、この枝に花をつけます。延岡市では行藤町、須美江町、大峽町、北川町の水路に自生しています。



ヒシ

ミソハギ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Trapa japonica

選定基準 : 1, 2

河 川		宅地 公園	農 地					草地	森 林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
○			○											

ため池や河川のワンド（川とつながっている水がよどむところ）の水面に葉を浮かべます。北海道～九州、朝鮮半島、中国に分布しています。葉はひし形をしていて、果実の刺は2個です。河川改修やため池の埋め立てにより減少しました。北川町家田地区、北方町に生えています。



ヒメシロアサザ

ミツガシワ科

環境省 RL : 絶滅危惧II類

宮崎県 RL : 絶滅危惧IB類

Nymphoides coreana

選定基準 : 1, 2, 5

河 川		宅地 公園	農 地					草地	森 林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
			○	○										

休耕田や水路、ため池に生えます。水面に葉を浮かべ花は白色です。本州～九州、沖縄、朝鮮半島、中国に分布し、延岡市では、北川町家田地区、稲葉崎町、浦城町、島浦町に自生しています。水質の悪化や河川改修により各地でなくなっています。



ミズオオバコ

トチカガミ科

環境省 RL : 絶滅危惧II類

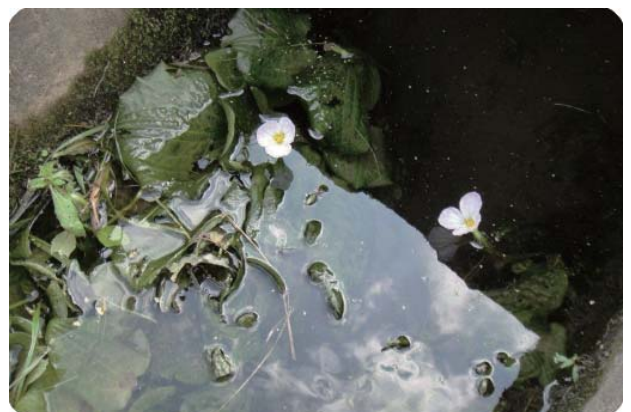
宮崎県 RL : 絶滅危惧IB類

Ottelia alismoides

選定基準 : 1, 2

河 川		宅地 公園	農 地					草地	森 林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
				○			○							

水田や水路に生えます。オオバコのような葉を水中につけます。本州～九州に分布し、延岡市では北川町川坂地区、稲葉崎町、大武町に自生しています。水路がコンクリートで造られたり、水が汚れてくると減少してきます。



コナギ

ミズアオイ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Monochoria vaginalis

選定基準 : 1, 5

河川		宅地公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
					○		○							

水田の雑草の代表的な種類です。冬には枯れる一年生草本で、約7cmの茎が数本出てそれぞれに葉を1個つけます。葉は卵のような形をしていて、葉の付け根はややへこんでいます。秋に青紫色の花をつけます。本州～台湾、東南アジアまで分布し、延岡市内の各地の水田で見られます。近年、水田に敷き藁をするためか、やや少なくなっています。



一年生草本…発芽して1年以内に開花・結実して、種子を残して冬に枯れる植物

ホシクサ

ホシクサ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Eriocaulon cinereum

選定基準 : 1, 5

河川		宅地公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
			○		○		○							

山間の水田や湿地に生えます。草丈は10cm～15cmあり、茎はなく、幅2mmで長さ3cm～8cmの葉をつけます。本州～九州、朝鮮半島、中国、アジア、アフリカ、オーストラリアに分布しています。延岡市では北方町石上地区、山口原地区、うそ越、曾木、無鹿町に自生しています。農地を埋め立てたり、冬に田んぼに敷き藁をしたりするために減少しています。



ヒメコウガイゼキショウ イグサ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : 準絶滅危惧

Juncus bufonius

選定基準 : 1, 2

河川		宅地公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
					○		○							

川べりの湿地や水田に生えます。草丈は20cm～30cmの冬には枯れる一年生草本です。全世界に分布し、延岡市では稲葉崎町や沖田町の水田に多く見られます。



マツカサススキ

カヤツリグサ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : 絶滅危惧 IA 類

Scripus mitsukurianus

選定基準 : 1, 2

河川		宅地 公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
	○				○									

河川や休耕田に生えます。草丈は1.5mに達します。本州、四国、九州に分布し、延岡市では野田町、古川町の河原や北川町家田地区の休耕田に生えています。川の工事や、他の強い植物におされて減少しています。



タコノアシ

タコノアシ科

環境省 RL : 準絶滅危惧

宮崎県 RL : 準絶滅危惧

Penthorum chinense

選定基準 : 1, 2

河川		宅地 公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
○	○			○	○									

河川や水路の水辺に生えます。草丈30cm～80cmあり、細長い葉の縁には細かい鋸歯（ギザギザの切れ込み）があります。花は黄緑色で目立ちませんが、果実がタコの吸盤のように並ぶのでこの名がつけました。本州～奄美、東アジアに分布しています。延岡市では古川町、野田町、沖田町、二ツ島町、牧町に自生しています。川や水田の工事などで減少しています。



ヒメミソハギ

ミソハギ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : 絶滅危惧 IB 類

Ammannia multiflora

選定基準 : 1, 2

河川		宅地 公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
	○				○		○							

水田や湿地に生えます。草丈10cm～30cmあり、葉は長さ2cm～5cmで付け根の部分は耳状となり茎を抱きます。本州～沖縄、アジア、オーストラリア、アフリカに分布し、延岡市では各地の水田に自生しています。



ミズマツバ

ミソハギ科

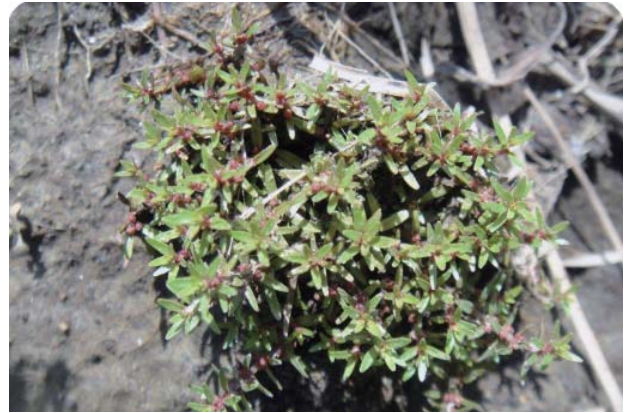
環境省 RL : 絶滅危惧Ⅱ類 宮崎県 RL : -

Rotala mexicana

選定基準 : 1, 2

河 川		宅地 公園	農 地					草地	森 林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
	○						○							

水田や河川の湿地に生える小さな草で、冬には枯れる一年生草本です。茎は地を這い幅1~2mm、長さ1~2cmの葉が3~4個同じところから出ます。本州~沖縄に分布し、延岡市では五ヶ瀬川の河川敷や各地の水田に自生しています。近年、冬に敷き藁を行うため、生えるところが少なくなっています。



タガラシ

キンポウゲ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : 準絶滅危惧

Ranunculus sceleratus

選定基準 : 1, 2

河 川		宅地 公園	農 地					草地	森 林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
				○	○		○							

水田や周辺の水路に生えます。草丈は25cm~50cmです。花は黄色でキツネノボタンに似ていますが、葉の先は円い形をしています。日本全土に分布しています。延岡市では沖田町、無鹿町に自生しています。



マルバノサウトウガラシ オオバコ科

環境省 RL : 絶滅危惧Ⅱ類 宮崎県 RL : 絶滅危惧ⅠB類

Deinostema adenocaulum

選定基準 : 1, 2, 5

河 川		宅地 公園	農 地					草地	森 林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
					○		○							

水田や休耕田、湿地に生えます。草丈5cm~20cmの冬には枯れる一年生草本です。本州~九州、朝鮮半島に分布し、延岡市では北川町川坂地区、北方町山口原地区に自生しています。水田の埋め立てや、冬に敷き藁をすることなどにより、めったに見られなくなっています。



セリ

セリ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Oenanthe javanica

選定基準 : 2

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
				○	○			○							

河原の湿地や溝、水田などに生える、冬でも枯れない多年生草本です。草丈は10cm～30cmあります。日本全土、東アジア、インド、オーストラリアまで広く分布します。春の七草として、あえものとしたり七草がゆに入れりして一般に広く親しまれています。河川の工事や水田の使い方の変化により少なくなっています。



多年生草本…夏や冬に茎の一部や根が枯れずに残り、2～3年以上生育する植物

ミチヤナギ

タデ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : 絶滅危惧II類

Polygonum aviculare

選定基準 : 1

河川		宅地 公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
	○			○			○							

道端や河川敷に生える一年生草本です。高さ10cm～30cmになります。葉は細く、花は葉の付け根に付きます。北半球に広く分布し、日本では北海道～沖縄に分布します。延岡市では五ヶ瀬川や沖田町の水路や北方町曾木の水田に生えています。改修工事により減少しています。



コギシギシ

タデ科

環境省 RL : 絶滅危惧II類 宮崎県 RL : 準絶滅危惧

Rumex dentatus

選定基準 : 1, 2

河川		宅地 公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
							○							

水田や川べりの湿地に生えます。草丈は30cm～50cmです。葉のもとの部分の葉柄が長く、付け根の部分は円形をしていて、裏に毛はありません。花のがく片の縁にとげのような毛があります。本州～九州に分布し、延岡市では各地で見られます。



ウンヌケモドキ

イネ科

環境省 RL： 準絶滅危惧

宮崎県 RL： 絶滅危惧 IB 類

Eulalia quadrinervis

選定基準： 1, 2

河 川		宅地 公園	農 地					草地	森 林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
								○							

小高い丘の草地に生えます。草丈は1mほどでスキに似ています。花のついている穂は3本です。水田の周辺の刈り跡などに生えていますが、近年草地が少なくなったため減少しています。延岡市では吉野町、鏡山、北方町で見つかっています。



ビロードキビ

イネ科

環境省 RL： 絶滅危惧 IB 類

宮崎県 RL： 絶滅危惧 IB 類

Urochloa villosa

選定基準： 1, 2

河 川		宅地 公園	農 地					草地	森 林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
								○							

水田の土手や農道の斜面の草地に生えます。草丈15cm～20cmで全体にやわらかい毛が生えています。紀伊半島から西、四国、九州、沖縄に分布します。延岡市内では北川町川坂地区、北方町山口原地区に生えています。コンクリートの壁ができたり、丈の高い樹木が生えてきて日陰になりして、少なくなってきています。



ゲンノショウコ

フウロソウ科

環境省 RL： -

宮崎県 RL： -

Geranium thunbergii

選定基準： 4

河 川		宅地 公園	農 地					草地	森 林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
								○	○				○	

山の周りの草むらやたんぼの土手などに生えています。南千島、北海道から奄美大島まで分布します。草丈は30cm～50cmあり、夏から秋にかけて紅紫色や白色の花をつけます。薬として飲むと効き目がすぐに現れるということから、「現の証拠」という名がついたといわれています。古くから薬草として使われています。



ヒメノボタン

ノボタン科

環境省 RL : 絶滅危惧II類 宮崎県 RL : 準絶滅危惧

Osbeckia chinensis

選定基準 : 1, 5

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
								○							

日当たりのよい草地や休耕地に生えます。草丈は20cm～50cmで、赤紫色の美しい花をつけます。紀伊半島～九州、中国に分布し、延岡市では北川町、北方町、吉野町に自生しています。草地の刈り取りや野焼きを続けることによって生育が保たれます。草地の刈り取りをせずにそのままにしていると、他の強い草が生えてきて競争に負けて、少なくなってしまう。



リンドウ

リンドウ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Gentiana scabra var. *buergeri*

選定基準 : 1

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
								○							

日当たりのよい山地の草地に生えます。草丈は20cm～60cmあり、秋に茎の先や葉の付け根に青紫色の美しい花をつけます。本州～奄美に分布し、延岡市では各地で見られますが、改修工事や他の強い植物が生えて競争に負けることにより少なくなってきました。



ロクオンソウ

キョウチクトウ科

環境省 RL : 絶滅危惧II類 宮崎県 RL : 絶滅危惧II類

Vincetoxicum amplexicaule

選定基準 : 1, 2

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
								○							

日当たりのよい草地や山野の道路わきに生えます。草丈は40cm～100cmに達します。四国、九州、朝鮮半島、中国に分布し、延岡市では吉野町、須美江町、北浦町、北方町山口原地区に生えています。草地そのものがなくなってきたために、少なくなってきました。



ゴマクサ

ハマウツボ科

環境省 RL : 絶滅危惧Ⅱ類 宮崎県 RL : 準絶滅危惧

Centranthera cochinchinensis var. *lutea*

選定基準 : 1, 5

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
								○							

丘陵地の草地や水田の横の草地の刈り跡に生えています。草丈 30cm で、花の色は黄色です。関東以西、四国、九州、沖縄に分布しています。延岡市では吉野町の草地に見られます。ゴマクサの生えるような草地そのものが減ってきているので、少なくなっています。



シロバナタンポポ

キク科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Taraxacum albidum

選定基準 : 1, 2

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
								○							

田んぼの土手や草地に生えます。関東から西、四国、九州に分布しています。セイヨウタンポポは花びらの外側のがくが反りかえりますが、シロバナタンポポの花は白色で、花の外側のがくは反りかえりません。道路や堤防の工事やその他の環境の変化により少なくなっています。延岡市では郊外の草地でよく見られます。



サイヨウシャジン

キキョウ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Adenophora triphylla var. *triphylla*

選定基準 : 1, 5

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
								○							

土手の斜面や林の周りの草地に生えます。葉は長楕円形で、茎の同じところに3~4枚付きます。夏から秋に、青色の釣鐘形の花を多数つけます。本州(中国地方)、九州、沖縄、中国に分布し、延岡市では北方町、舞野町、吉野町、鹿狩瀬町に自生しています。似た仲間につりがネニンジンがあります。



リュウノウギク

キク科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : 絶滅危惧 IA 類

Chrysanthemum makinoi

選定基準 : 1, 5

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
								○	○						

日あたりのよい山すその草地や崖地に生えます。草丈 30cm ~ 50cm です。ノジギクに似ていますが、やや花が小さく葉の切れ込みが少ないことが特徴です。本州~四国に分布し、九州では宮崎県北のみに分布しています。延岡市では鹿狩瀬町、行藤町、天下町、鏡山で見られます。樹木が生えて日陰になったり、道路の改修工事により減少しています。



キオン

キク科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : 絶滅危惧 IB 類

Senecio nemorensis

選定基準 : 5

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
								○							

山すその草地に生えます。草丈は 50cm ~ 100cm です。葉の縁には不ぞろいな鋸歯（ギザギザの切れ込み）があります。花は多数つきます。北海道~九州、朝鮮半島、中国、シベリア、ヨーロッパに分布しています。延岡市では行藤山、鏡山、北方町に自生しています。丈の高い樹木が生えてきて、日陰になるとなくなってしまいます。



ツワブキ

キク科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Farfugium japonicum

選定基準 : 4

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
									○	○	○				

海岸の岩の上や崖地、海に近い林の周辺に生えます。草丈は約 50cm あり、葉は円く、秋~冬にかけて黄色の花をつけます。本州（福島県・石川県以南）から沖縄、朝鮮南部、中国に分布します。若い葉柄（葉の茎）を煮て食べます。



ヒュウガトウキ

セリ科

環境省 RL : 絶滅危惧Ⅱ類 宮崎県 RL : 絶滅危惧Ⅱ類

Angelica tenuisecta var. *furcijuga*

選定基準 : 1, 5

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
									○						

道路の斜面や溪谷の岩場に生えます。宮崎県と大分県南部に分布しています。草丈は、30cm～1mに達します。薬になるといふことから、いっぱい採られる時期がありましたが、近年、やや増えつつあります。



エビネ

ラン科

環境省 RL : 準絶滅危惧 宮崎県 RL : 絶滅危惧Ⅱ類

Calanthe discolor

選定基準 : 2, 5

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
										○	○	○	○		

雑木林やスギ林の下に群落をつくります。草丈は約20～40cmあり、葉は長さ15～25cm、幅は5～8cmあり、5月ごろ10数個の花をまばらにつけます。近年、鑑賞するためにいっぱい採られ、生育地が大変少なくなっています。北海道西南部から沖縄、済州島まで分布します。



キンラン

ラン科

環境省 RL : 絶滅危惧Ⅱ類 宮崎県 RL : 準絶滅危惧

Cephalanthera falcata

選定基準 : 1, 5

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
								○	○	○					

小高い丘の草地や林の周りに生えています。草丈30cm～50cmで、花色は黄色です。本州から九州に分布しています。延岡市では大崩山、細見町、稲葉崎町、鹿狩瀬町、北方町山口原地区の各地で見られます。丈の高い樹木が生えてきて暗くなったり、人によりいっぱい採られたりして、減ってきています。



ヒュウガサンショウソウ イラクサ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : 絶滅危惧 IB 類

Pellionia hyugaensis

選定基準 : 1, 5

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
									○			○		○	

低い山のやや湿り気のある林の周りに生えます。葉はオオサンショウソウに似ていますが、表面に光沢があり、やや厚く、葉のふちが裏にそりかえります。宮崎県北部にしか分布していません。小野町や北方町に自生地があります。



アケビ

アケビ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Akebia quinata

選定基準 : 4

河川		宅地 公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
									○	○				

つる性の木で、他の木に巻きつきます。林のまわりによく見られます。本州、四国、九州、朝鮮半島、中国に分布します。実は長さ5cm～10cm、直径3～5cmあり、果肉や厚い皮は食べられます。つるは、かごなどのあけび細工として用いられます。葉は5枚ですが、同じ場所に葉が3枚のミツバアケビも見られます。



タラノキ

ウコギ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Aralia elata

選定基準 : 4

河川		宅地 公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
									○					○

低い山の刈り跡や、山すその開けたところなどに生えます。高さ2m～5mに達する冬に落葉する低い木で、木の表面には鋭い刺があります。北海道、本州、四国、九州、東シベリア、サハリン、朝鮮半島、中国東北部に分布します。若い芽（タラの芽）はあえものや、天ぷらとして食用にされます。木の皮は薬として利用されます。



カンアオイ類

ウマノスズクサ科

Asarum spp.

選定基準： 1, 5

河 川		宅地 公園	農 地					草地	森 林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
										○	○	○	○	○	

延岡市の里山には6種類のカンアオイが生えています。葉はシクラメンのような形をしていて、徳川家の葵の家紋はこの仲間からデザインしたものとされています。花はつぼの形をしていて、上の部分に3枚の花びらのように見えるがくがあります。スギ林、照葉樹林、竹林などの林に生えます。近年、人に採られたため少なくなりました。

ツクシアオイ

環境省 RL：絶滅危惧II類 宮崎県 RL：絶滅危惧IA類

Asarum kiusianum

九州西北部に分布しています。宮崎県では延岡市内に1ヶ所生えています。花は短い筒のような形をしています。がくは緑色です。



マルミカンアオイ

環境省 RL：絶滅危惧IB類 宮崎県 RL：準絶滅危惧

Asarum subglobosum

熊本県、宮崎県に分布し、延岡市南部まで分布しています。花は丸い球のようなかたちをしています。



オナガカンアオイ

環境省 RL：絶滅危惧IA類 宮崎県 RL：絶滅危惧IA類

Asarum minamitanianum

宮崎県の北のほうにしか生えていません。がくの長さが10cm～15cmと長いのが特徴です。宮崎県にしか生えていませんので、宮崎県の指定希少野生動植物に指定され、採集することが禁止されています。



カンアオイ類

ウマノスズクサ科

Asarum spp.

カンアオイ類は、地面すれすれに花をつけます。このため、種子のひろがる範囲が限られ、分布の速さが遅くなり、高い山脈や大きな川などを越えられずに生える範囲が限られ、その土地にしか見られない種類（固有種）が各地で生まれています。花の変わったものが珍しがられ、観賞用に各地でいっぱい採られ、急速に生えている場所が失われています。ほとんどの種類が国や県により絶滅危惧種に指定されています。大切に守り育てたい代表的な植物のひとつです。

サンヨウアオイ

環境省 RL : -

宮崎県 RL : 絶滅危惧Ⅱ類

Asarum hexalobum

本州（中国地方）と四国、九州北部に分布しています。がく片は平たくおしべが6本あります。五ヶ瀬川から北に分布し、南には分布していません。



キンチャクアオイ

環境省 RL : 絶滅危惧Ⅱ類

宮崎県 RL : 準絶滅危惧

Asarum hexalobum var. *perfectum*

四国、九州南部、延岡市の五ヶ瀬川から南部に分布しています。がくが内側にめくれています。おしべは12本あります。



タイリンアオイ

環境省 RL : -

宮崎県 RL : 絶滅危惧Ⅱ類

Asarum asaroides

本州（中国地方）と九州北部に分布しています。花が大きく、がくがややちぢれています。延岡市の北部にまで分布し、これから南には生えていません。



オオバネムノキ

マメ科

環境省 RL : 絶滅危惧 IB 類 宮崎県 RL : 絶滅危惧 IB 類

Albizia kalkora

選定基準 : 1, 5

河 川		宅地 公園	農 地					草地	森 林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
									○	○				

落葉性の木で、崖地や林縁に生えます。小葉の幅が約1cmあり、普通に見られるネムノキに比べると、葉の幅が5～6倍広いです。6月初めにクリーム色の花を多数つけます。朝鮮、中国、東南アジア、インドに分布し、日本では宮崎県の日豊海岸だけに分布します。延岡市内では海岸近くの林の周辺に広く分布していましたが、改修工事や宅地の造成により生育地が失われ、減少しています。



センリョウ

センリョウ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Sarcandra glabra

選定基準 : 4

河 川		宅地 公園	農 地					草地	森 林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
										○				

暖かい地方の林の下に生える常緑の低い木で、高さ50cm～100cmになります。本州（東海地方）、四国、九州、沖縄、アジア東南部に分布します。冬に枝先に直径5mmほどの赤い実をいっぱいつけます。庭木や鉢植えに利用されるほか、実が赤くてきれいなため、正月の生け花として用いられます。



クチナシ

アカネ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

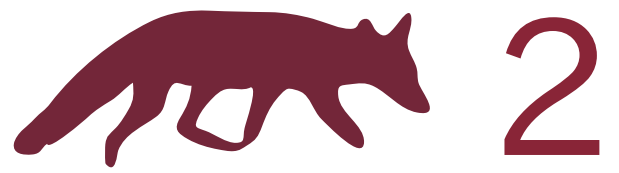
Gardenia jasminoides

選定基準 : 4

河 川		宅地 公園	農 地					草地	森 林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
										○				

高さ1m～2mの低い木であり、静岡県から南、四国、九州、沖縄、台湾、インドシナ、ヒマラヤまで分布します。6～7月に香りのよい白い花をつけ、秋から冬にかけて橙色の楕円形の果実をつけます。庭木や公園樹として植えられています。果実は、黄色の染料として利用されます。また、きんとんやたくわんなどの食べ物の色を付けるのに使われます。果実が開かないので、「くちなし」という名がついたといわれています。





哺乳類

写真・文／岩切康二

ヒミズ

モグラ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Urotrichus talpoides

選定基準 : 2

河川		宅地公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
								○	○	○	○	○		

頭胴長は約 9-10cm、尾長は約 3-4cm の半地下生のモグラの仲間です。全体的に黒っぽい色をしています。尾はこん棒のような形をしていてブラシ状の毛があります。低い山の草原や広葉樹林に多く、落ち葉の中やそのすぐ下の腐植層を主な生活場所としています。地面の上にもときどき出てきます。昆虫、ミミズ、ジムカデ、クモなどの動物の他に、植物の種子なども食べます。



頭胴長…全長から尾の長さ(尾長)を引いた長さ

コウベモグラ

モグラ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Mogera wogura

選定基準 : 4

河川		宅地公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
	○	○				○		○	○	○	○	○	○	○

頭胴長は約 13-18cm、尾長は約 1.5-3cm の地下生のモグラの仲間です。全体的に茶色っぽい色をしています。地域により個体差があります。低地の草原や農耕地から山地の森林まで分布し、平野部にも生息しています。河川敷や畑で土が盛り上がっているのを見ることがありますが、それはコウベモグラが作ったモグラ塚です。昆虫、ミミズ、ジムカデ、カエルなどの動物の他に、植物の種子なども食べます。



キクガシラコウモリ

キクガシラコウモリ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Rhinolophus ferrumequinum

選定基準 : 2, 3

河川		宅地公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
○	○							○	○	○	○	○		○

前腕長は約 5-6cm、頭胴長は約 5-8cm のやや大型のコウモリです。淡い褐色の毛の色をしていて、顔の前面に「鼻葉」と呼ばれる特徴的な突起を持ちます。洞穴性で、自然洞窟のほか、防空壕跡、古いトンネルなども利用し、昼間はぶら下がって止まって休んでいます。夜になると洞穴などから出て、日が沈んだすぐ後に河川、平地、丘陵地、森林、草原などで集中的にエサを採ります。



アブラコウモリ

ヒナコウモリ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Pipistrellus abramus

選定基準 : 4

河川		宅地 公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
○	○	○	○	○	○	○	○	○						

前腕長は約 3-4cm、頭胴長は約 4-6cm の中型のコウモリです。黒茶っぽい褐色の毛の色をしています。都市やその郊外を中心に生息していて、昼間の隠れ家は民家の瓦や戸袋などの隙間、高架橋の隙間などの人工構造物（人間が造った建物など）を利用しています。最も身近にいる野生の哺乳類のひとつで、街中でも夕方に飛んでいる姿を見ることができます。



ニホンザル

オナガザル科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Macaca fuscata

選定基準 : 2

河川		宅地 公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
									○	○	○	○	○	○

頭胴長はオス 53-60cm、メス 47-55cm で、オスの方が体が大きいです。尾の長さは約 10cm 程度で短いです。10 頭前後から 100 頭前後の群れで生活し、行動域内でエサを求めて移動します。主に昼間に活動し、果実、種子、葉、芽、昆虫などを食べますが、畑の野菜類やほだ場の椎茸なども食べるので農作物被害が発生しています。延岡市南浦地区、北浦町、北川町、北方町に群れが生息しています。



アカギツネ

イヌ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Vulpes vulpes

選定基準 : 2

河川		宅地 公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
	○					○		○	○	○	○	○		○

頭胴長は 60-75cm、尾長は約 40cm で中型の日本犬ぐらいの大きさです。とがった口先や、三角形の耳、太くふさふさした長い尾などが特徴です。都市郊外から山岳地までさまざまな環境に生息しますが、主に森と畑が一緒にある里山環境を好みます。主に肉食性で、ネズミ、ノウサギなどの小さな哺乳類、キジなどの鳥類、大型のコガネムシ類などを食べます。以前よりは、目にする機会が増えてきている動物のひとつです。



タヌキ

イヌ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Nyctereutes procyonoides

選定基準 : 4

河川		宅地公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
	○			○	○	○			○	○	○	○	○	○	

頭胴長は50-60cm、尾長は約15cmで小型のイヌより少し大きいです。同じぐらいの大きさではアナグマとアライグマもいますが、顔と尻尾の特徴から見分けることができます。生息範囲は広く、里山から奥山深くまで生息しています。タヌキは決まった場所に集中的に糞をする「ため糞」をしますが、アナグマも同じような場所で糞をします。「疥せん症」にかかり体の毛が抜けたタヌキが人家周辺に出てくることもあります。



ニホンテン

イタチ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Martes melampus

選定基準 : 2

河川		宅地公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
	○								○	○	○	○	○	○	

頭胴長は42-47cm、尾長は18-19cmでネコと同じぐらいの大きさです。外来種のシベリアイタチ(チョウセンイタチ)よりもやや大きいです。夏と冬で毛の色が異なり、夏毛では顔からのどにかけて黒くなりますが、冬毛では白くなります。主に地上で生活しますが、木登りも非常に上手です。小型動物や昆虫から果実までいろいろなものを食べます。



ニホンイタチ

イタチ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : 情報不足

Mustela itatsi

選定基準 : 1, 3

河川		宅地公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
○	○		○	○	○		○		○	○	○	○	○	

頭胴長はオス27-37cm、メス16-25cm、尾長はオス12-16cm、メス7-9cmでオスの方がメスよりも大きいです。外来種で大型のシベリアイタチ(チョウセンイタチ)が侵入してからは、ニホンイタチは山の方に追われる傾向にあります。水辺を好み、近くに水田がある山沿いや川の近くに生息し、カエルやネズミ、小さな鳥、昆虫などのほか、カニなどの甲殻類や魚を食べることもあります。



ニホンアナグマ

イタチ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Meles meles

選定基準 : 4

河川		宅地 公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
	○			○	○	○			○	○	○	○	○	

頭胴長は約 52cm、尾長は約 14cm で小型のイヌを少し大きくしたぐらいの大きさです。タヌキとほぼ同じぐらいの大きさですが、ニホンアナグマの方がずんぐりした体型をしています。顔を正面から見ると、鼻の上の白さが目立つのでハクビシンと間違えられますが、ハクビシンの正確な記録は九州からはほとんどありません。生息範囲は広いですが、宮崎県ではどちらかと言えば奥山よりも里山で見かけます。



ムササビ

リス科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : 準絶滅危惧

Petaurista leucogenys

選定基準 : 1, 2

河川		宅地 公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
										○	○	○	○	

頭胴長は 34-48cm、尾長は 28-41cm でネコより少し小さいぐらいの大きさです。首から前足、後ろ足の間、後ろ足の間から尾の間に飛膜が発達していて、木の上から滑空して移動します。その姿は「空飛ぶ座布団」のようです。平野部から高い山まで生息していますが、大木のある森がなければ生息できません。夜行性で、昼間は樹洞にある巣の中で休んでいます。延岡市の里山では、大木のある神社などで見ることができます。



カヤネズミ

ネズミ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : 準絶滅危惧

Micromys minutus

選定基準 : 1, 2

河川		宅地 公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
	○				○	○	○	○						

頭胴長は約 5-8cm、尾長は約 6-8cm の小さなネズミです。低地から高い山まで生息していますが、低地、水田、休耕田、河川敷などのイネ科やカヤツリグサ科の植物が密生している草地に多いです。ススキやチガヤなどの葉を編んでボールの形をした巣(球巣)を作り、その中で子育てをします。最近、休耕田が増えているため、そのような場所をよく利用しています。



アカネズミ

ネズミ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Apodemus speciosus

選定基準 : 2

河川		宅地公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
	○					○	○	○	○	○	○	○	○	○

頭胴長は約 8-14cm、尾長は約 7-13cm のやや小型のネズミです。低い山を中心に、明るい雑木林や照葉樹林などの森林を主な生息地としています。が、いろいろな環境を利用することができ、河川敷、草原、田んぼの畦などにも住むことができます。里山の森林に広く生息しているネズミです。似た種に、地上だけでなく樹上でも生活するヒメネズミがいます。



ニホンノウサギ

ウサギ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Lepus brachyurus

選定基準 : 2

河川		宅地公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
	○				○			○	○	○	○	○		○

頭胴長は 43-54cm、尾長は 2-5cm のネコぐらいの大きさです。耳の長さは、6-8cm ぐらいです。雪が多く降るところに住むノウサギは冬になると全身が白くなりますが、九州にいるノウサギは冬でも茶色いままです。低地から高い山までの海岸、河川敷、草原、森林などさまざまな場所に生息しています。足跡や糞が特徴的なので、痕跡から簡単に生息を確認することができます。



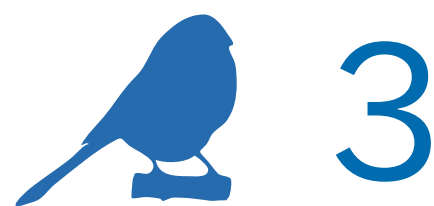
アライグマに気をつけて！

平成 28 年 (2016 年) 2 月 5 日に、延岡市北川町下赤の山林で、外来生物法により特定外来生物に指定されているアライグマが捕獲されました。宮崎県ではこれまで高千穂町、日之影町、延岡市、椎葉村、西都市、高原町で確認されており、隣の大分県ではほぼ全域で確認されています。アライグマの侵入は農作物への被害だけでなく、サンショウウオ類など外来生態系への被害も心配されています。もし見つけたらすぐに延岡市役所に連絡を！



延岡市で捕獲されたアライグマ (宮崎県提供) しましま模様の尻尾が本種の特徴





鳥類

写真・文／稲田菊雄

キジ

キジ科

環境省 RL： -

宮崎県 RL： -

Phasianus colchicus

選定基準： 4

河川		宅地 公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
	○					○		○					○	

留鳥（全長オス 80cm・メス 60cm）

オスは尾が長く、頭頂、胸、腹は光沢のある暗緑色で、顔は赤く皮膚が露出しています。メスは茶褐色に黒褐色の斑紋があり、尾はオスより短いです。早春になると「ケーン、ケーン」と鳴き、つがいで行動しているのを見かけます。延岡市の農耕地、河川敷などに生息し、草の種子や昆虫などを食べます。国鳥に指定されていますが、狩猟鳥にもなっており、毎年、放鳥されています。



オシドリ

カモ科

環境省 RL： 情報不足

宮崎県 RL： 情報不足

Aix galericulata

選定基準： 2, 3

河川		宅地 公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
○			○				○			○				

冬鳥、一部留鳥（全長 46cm）

オスの体色は生繁殖羽で銀杏羽があり、メスは灰褐色で目の周囲が白いです。習性や行動が他のカモ類とは違い、森林に囲まれたダム湖、河川、溪流の淵などで観察され、ドンダリの実などを食べます。冬季に多く見られますが、延岡市では繁殖した記録があります。



カルガモ

カモ科

環境省 RL： -

宮崎県 RL： -

Anas zonorhyncha

選定基準： 4

河川		宅地 公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
○			○			○	○							

留鳥、冬鳥（全長 61cm）

体は褐色で黒褐色の斑があり、嘴が黒くて先は黄色、雄雌共に同色です。食べ物は植物質が主で、延岡市の各河川や農耕地などに生息しています。繁殖期に幼鳥をつれて移動している姿を見ることがあります。冬季には冬鳥として飛来するので多く見られます。



カイツブリ

カイツブリ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Tachybaptus ruficollis

選定基準 : 4

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
○			○												

留鳥 (全長 26cm)

全身が褐色で尾がほとんどありません。夏羽では首の上部に赤みがあります。宮崎県内の方言で「ケツグロ」とか「ケツブロ」と言います。「ケレケレケレ、ピッ、ピリオン」などと鳴き、小魚や水生昆虫を潜って捕食します。延岡市の河口から上流域にあるダム湖までの広い範囲に生息しています。



キジバト

ハト科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Streptopelia orientalis

選定基準 : 4

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
		○				○		○		○	○		○		

留鳥 (全長 33cm)

全体的にブドウ色を帯びた灰褐色で首に黒と青灰色の鱗状斑があります。「デデポッポー」と鳴き、草の種子や木の実などを食べます。延岡市の山地から市街地までの広い範囲に生息しています。ほぼ1年中繁殖し、庭にある木にも巣を作ります。



ササゴイ

サギ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Butorides striata

選定基準 : 1, 2, 3

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
○		○	○	○	○				○	○	○				

夏鳥、一部越冬 (全長 52cm)

頭上が黒く、背と翼の上は青緑の光沢がある黒褐色で雄雌同色です。延岡市の河口から中流域などに生息し、魚を捕食します。延岡市街地でコロニー(集団繁殖地)を作り、繁殖した記録がありますが、最近は見られなくなりました。



アオサギ

サギ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Ardea cinerea

選定基準 : 3, 4

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
○			○	○	○	○	○				○				

留鳥 (全長 93cm)

上面は青灰色で頭が白く黒色の冠羽があります。河川、干潟、水田などで普通に見られ、カエル、昆虫などを捕食します。延岡市方財町の鷺島や、島野浦島で繁殖が記録されていますが、西臼杵郡高千穂町でも繁殖の記録があります。



コサギ

サギ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Egretta garzetta

選定基準 : 3, 4

河川		宅地 公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
○			○	○	○	○	○			○				

留鳥 (全長 61cm)

全身が白く、嘴が黒で足指が黄色です。全身が白いサギは他にチュウサギやダイサギがいて、大きさにより識別されます。延岡市の各河川や農耕地などに生息し、魚やカエルなどを捕食します。五ヶ瀬川河口にある鷺島で繁殖した記録があります。



ホトトギス

カッコウ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Cuculus poliocephalus

選定基準 : 4

河川		宅地 公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
										○	○			

夏鳥 (全長 28cm)

上面は青灰色で、腹部は白くて黒色横斑が帯状に並びます。オスは鳴き声から「テッペンカケタカ」「特許許可局」などと聞きなします。主にガ類の幼虫を食べ、托卵性で、主にウグイスに托卵して育雛させます。延岡市の平地から山地で昼夜を問わず鳴いています。



聞きなし…鳥の鳴き声を覚えやすい言葉などに置き換えたもの

托卵…違う種類の鳥の巣に卵を産み、他の種類の親鳥に子育てをさせること



トビ

タカ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Milvus migrans

選定基準 : 4

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
	○	○				○	○	○		○	○		○		

留鳥（全長オス 59cm・メス 69cm）

体は黒褐色で羽に淡色の縁があります。尾の先が凹状になっているのが特徴です。「ピロロロー」と鳴き、輪を描きながら飛翔します。延岡市の山地から海岸まで広範囲に生息しています。昆虫やカエルなどを捕食しますが、死んだ魚や動物をついばみ、自然界で掃除屋の役目もしています。



サシバ

タカ科

環境省 RL : 絶滅危惧II類

宮崎県 RL : 準絶滅危惧

Butastur indicus

選定基準 : 1, 2, 3

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
						○	○			○	○		○		

夏鳥（全長オス 47cm・メス 51cm）

胸腹部に黒褐色の横斑があり、上面は褐色で喉は白く中央に黒色縦斑があります。「ピクィー」と鳴き、小型哺乳類や小鳥類を捕食します。延岡市の山間部では夏季に少数が記録されるので、繁殖していると思われます。また、宮崎県は渡りコースにあり、秋の時期に多くのサシバが渡って行くのを観察することができます。



アオバズク

フクロウ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : 絶滅危惧II類

Ninox scutulata

選定基準 : 1, 2

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
		○								○	○				

夏鳥（全長 29cm）

目が黄色で上面は黒褐色、下面は白地に黒褐色の縦紋があります。夜「ホッホー、ホッホー」と鳴き、昆虫などを捕食します。鳴き声で間違いやすいフクロウは、「ホッホ、グルスクホッホ」と鳴きます。延岡市の東海小学校、南方小学校にあるセンダンの木や、神社の大木などで繁殖した記録があります。個体数が減少していますが、夜行性なので生息状況が良くわかっていないのが実状です。



カワセミ

カワセミ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Alcedo atthis

選定基準 : 2, 3, 4

河川		宅地公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
○			○	○										

留鳥 (全長 17cm)

嘴が長く、上面は光沢のある緑色、背から上尾筒にかけてコバルト色で下面は橙色です。飛びながら「チーツ」と鳴き、水中に飛び込んで主に小魚を捕食します。延岡市の各河川の河口から中流域、用水路などに生息しています。



ヤマセミ

カワセミ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Megaceryle lugubris

選定基準 : 2, 3, 4

河川		宅地公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
○			○											

留鳥 (全長 38cm)

体は白と黒のまだら模様で、冠羽があります。「キャラッ、キャラッ」と鳴き、水中にダイビングして嘴で主に魚を捕食しますが、水生昆虫なども食べます。延岡市の各河川の中流域から上流域に生息しています。



コゲラ

キツツキ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

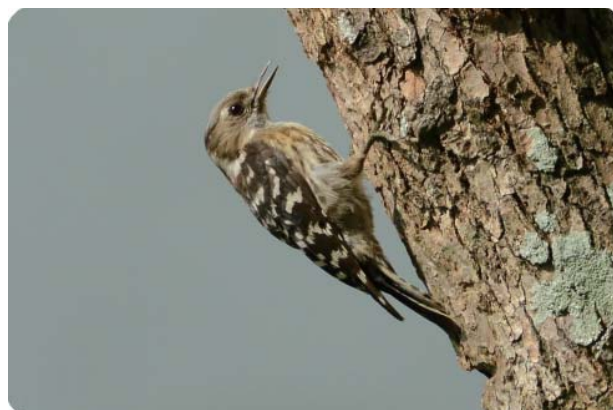
Dendrocopos kizuki

選定基準 : 4

河川		宅地公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
		○								○	○	○	○	

留鳥 (全長 15cm)

頭から体の上面は黒褐色で、背と翼には白色の横斑があります。体の下面は汚白色です。「ギーツ、ギーツ」と鳴き、幹をつついて昆虫などを捕食します。延岡市の自然林のある林に生息していますが、樹木の多い公園でも見られます。非繁殖期にはヤマガラ、エナガ、シジュウカラなどと混群を作って行動することがあります。



アオゲラ

キツツキ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Picus awokera

選定基準 : 4

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
		○								○	○	○	○		

留鳥 (全長 29cm)

全身が灰黄緑色で、腹部には黒色横紋があり、頭部と頬に赤色部があります。「キョツ、キョツ」と鳴き、幹などを連続でつついて音を出すドラミングをし、幹の昆虫やアリなどを捕食します。延岡市では平地から山地の樹木のある場所に生息しています。



サンショウクイ

サンショウクイ科

環境省 RL : 絶滅危惧II類

宮崎県 RL : -

Pericrocotus divaricatus

選定基準 : 4

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
		○								○	○	○	○		

留鳥 (全長 20cm)

上面が青灰色で、下面は灰白色、頭部、翼、尾が黒いです。「ヒリヒリッ、ヒリヒリッ」と鳴き、樹上で昆虫を捕食します。延岡市の平地から山地の広い範囲に生息し、鳴きながら飛んでいるのを見かけますが、亜種のリュウキュウサンショウクイ (写真) が多く見られます。



サンコウチョウ

カササギヒタキ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : 準絶滅危惧

Terpsiphone atrocaudata

選定基準 : 1

河川		宅地 公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
										○	○	○		

夏鳥 (全長オス 45cm・メス 18cm)

オスは尾が長く、上面は赤紫色、下面は白色で、頭胸は紫黒色、目の周囲はコバルト色です。鳴き声から「月日星 (つきひほし)、ホイホイホイ」と聞きなします。昆虫などを捕食し、低地から山地のよく茂った林に生息しています。延岡市の行藤山、愛宕山や北方町、北川町の山間部で観察記録があります。



モズ

モズ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Lanius bucephalus

選定基準 : 4

河川		宅地公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
		○				○		○		○	○		○	○	○

留鳥（全長 20cm）

オスは頭が橙褐色で黒い過眼線があり、背が青灰色で翼に白斑があります。メスは上面が褐色で翼に白斑がなく、下面に褐色の横斑があります。餌となるカエルなどを枝に刺す行動（はやにえ）をします。秋になると「キィーキィキィキィ、キュン、キュン」と高鳴きをします。延岡市の公園や農耕地、雑木林などに生息しています。



カケス

カラス科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Garrulus glandarius

選定基準 : 4

河川		宅地公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
										○	○	○	○		

留鳥（全長 33cm）

体はぶどう褐色で頭部が白地に黒の縦斑で目の周りが黒く、翼に青と黒の斑があります。「ジェーッ」と鳴きますが、他の鳥や物音をまねて鳴くことがあります。昆虫やクモ、種子や木の実などを食べます。また、他の鳥の巣を襲い、卵やヒナを食べることもあります。延岡市の平地から山地の林に生息しています。



ヤマガラ

シジュウカラ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Poecile varius

選定基準 : 4

河川		宅地公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
		○								○	○	○	○		

留鳥（全長 14cm）

頭部は黒で、背と腹は茶褐色、肩羽と翼は暗青灰色です。「ツーピー、ツーピー」とさえずり、昆虫や木の実を食べます。延岡市の平地から山地の樹木のある場所に生息しています。非繁殖期にはシジュウカラ、エナガ、メジロなどと混群を作って行動することがあります。営巣に巣箱を利用することもあります。



シジュウカラ

シジュウカラ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Parus minor

選定基準 : 4

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
		○								○	○	○	○		

留鳥（全長 15cm）

上面が青灰色で、頬が白、頭が黒、胸から腹にかけて黒い縦線があります。「ツピイツピイ」とさえずり、昆虫などを捕食します。営巣は巣箱や、郵便受けを利用することもあります。延岡市の平地から山地の樹木のある場所に生息しています。非繁殖期にはメジロやエナガなどと混群を作って行動することがあります。



ヒバリ

ヒバリ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Alauda arvensis

選定基準 : 4

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
	○					○	○	○							

留鳥（全長 17cm）

頭部に冠羽があり、体は淡黄褐色で黒い縦斑があります。「ビルルツ」と鳴き、草の実や昆虫などを食べます。春になると天高く舞い上がり「ピーチュルピーチュル…」とさえずります。ひと昔ほど多くはいましたが、平地の農耕地や河川敷などに生息しています。



ツバメ

ツバメ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Hirundo rustica

選定基準 : 4

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
	○	○				○	○	○							

留鳥、旅鳥（全長 17cm）

上面が黒色で下面は白く、額と喉は赤褐色です。「チュピツ」「ツピツ」などと鳴き、飛びながら昆虫などを捕食し、人家周辺や市街地を好んで生息します。夏から秋にかけて集団でねぐらを取り、延岡市の大瀬川河口のアシ原を利用しているのが記録されています。一年中見られますが、旅鳥のツバメもいます。



ウグイス

ウグイス科

環境省 RL： -

宮崎県 RL： -

Cettia diphone

選定基準： 4

河川		宅地 公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
		○						○	○	○	○	○	○	○

留鳥（全長オス 16cm・メス 13cm）

全身茶褐色で下面は淡い色です。冬は「チャッ、チャッ」と鳴きますが、春が近づくと「ホーホケキョ」とさえずり、昆虫やクモなどを捕食します。延岡市の平地から山地の林内や、茂った藪などに生息しています。



エナガ

エナガ科

環境省 RL： -

宮崎県 RL： -

Aegithalos caudatus

選定基準： 4

河川		宅地 公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
		○								○	○	○	○	○

留鳥（全長 14cm）

上面が黒と紅紫色、頭部と下面は白色で、嘴が短く、尾は長くて黒いです。平地や丘陵、山地の林に生息し、「ジュリリリ」と鳴き、小さい昆虫などを捕食します。非繁殖期にはメジロ、コゲラ、カラ類などと混群を作って行動しています。



メジロ

メジロ科

環境省 RL： -

宮崎県 RL： -

Zosterops japonicus

選定基準： 4

河川		宅地 公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
	○	○								○	○	○	○	○

留鳥（全長 12cm）

上面が暗黄緑色、下面は白色で目の周囲が白いです。「チーチュルチーチュルチチルチチル」などとさえずり、「長兵衛忠兵衛長忠兵衛」と聞きなします。昆虫や木の実、花の蜜を食べます。延岡市の平地から山地の樹木ある場所に生息しています。非繁殖期には群で過ごし、カラ類の群に混じって行動することもあります。また冬には市街地でも見られ、庭先にもやって来ます。



カワガラス

カワガラス科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Cinclus pallasii

選定基準 : 1, 2

河川		宅地 公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
○				○										

りゅうちょう ぜんちょう
留鳥 (全長 22cm)

ぜんしん こっかつしよく あし ぎんいろ はいいろ
全身が黒褐色で、足は銀色がかった灰色です。
「ビツ、ビツ」と鳴き、水に潜って水生昆虫や小
ざかな ほしよく がっこう はんしよく のべおかし か
魚を捕食し、2月頃から繁殖します。延岡市の河
せん ちゅうりゅう じょうりゅういき せいそく きんねん
川の中流から上流域に生息していますが、近年、
こたいすう げんしやう
個体数が減少しています。



シロハラ

ヒタキ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Turdus pallidus

選定基準 : 4

河川		宅地 公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
		○						○	○	○	○	○		

ふゆどり ぜんちょう
冬鳥 (全長 24cm)

じょうめん ちやかつしよく ふくぶ しろいろ そと おぼね
上面は茶褐色で、腹部はくすんだ白色、外尾羽の
さき しろ
先が白いです。「キョッキョツ」「ツイー」と鳴き、
おも ち じょう こんちゅう ようちゅう ほしよく
主に地上で昆虫の幼虫やミミズなどを捕食しま
が、木の実は食べます。冬に渡ってきて、延岡市
の平地から山地のよく茂った林や、公園などの藪
などに生息しています。



ツグミ

ヒタキ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Turdus naumanni

選定基準 : 4

河川		宅地 公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
	○	○				○	○		○	○		○		

ふゆどり ぜんちょう
冬鳥 (全長 24cm)

じょうめん あんかつしよく むね ほら しろ むね わき
上面が暗褐色で、胸から腹は白くて胸から脇にか
けて黒斑がありますが、個体差があります。「ク
イツ、クイツ」と鳴き、昆虫やミミズ、クモを捕
食しますが、木の実は食べます。冬に渡ってきて、
延岡市の平地から山地の開けた林や、農耕地、公
園などに生息しています。



ジョウビタキ

ヒタキ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Phoenicurus aureus

選定基準 : 4

河川		宅地 公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
	○	○				○		○		○	○	○		

冬鳥（全長 15cm）

オスの体色は頭部が灰白色で喉が黒く、翼に白斑があり、下面は橙色です。メスは全体的に灰褐色です。宮崎県内の方言で「ヒンカチ」と言われ、10月中旬頃渡ってきます。頭を下げ、尾を振り、「ヒィヒィ」と鳴き、昆虫やピラカンサなどの実を食べます。延岡市の市街地から山地の開けた場所に生息していて、庭先にもやって来ます。



オオルリ

ヒタキ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : 準絶滅危惧

Cyanoptila cyanomelana

選定基準 : 1, 2

河川		宅地 公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
										○	○	○		

夏鳥（全長 16cm）

オスの体の上面は青紫色で下面は白く、喉、顔、胸は黒いです。メスは全身が茶褐色です。「ピーリーリー、ポイヒーピピ」などと複雑で美しい声でさえずり、昆虫などを捕食します。春から夏にかけて繁殖のために渡ってきて、延岡市の溪流沿いの林のある場所に生息していますが、個体数が減少しています。



スズメ

スズメ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Passer montanus

選定基準 : 4

河川		宅地 公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
		○				○	○	○					○	

留鳥（全長 15cm）

体が褐色で、顔は白くて耳羽と喉は黒く、翼に2本の白帯があります。「チュン、チュン」と鳴き、穀類や雑草の実を食べますが、繁殖期には昆虫などを捕食します。延岡市の市街地から山地の集落、人の生活している周辺に生息しています。若鳥は秋口に集団でねぐらを取り、長距離の移動をするものもいます。



キセキレイ

セキレイ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Motacilla cinerea

選定基準 : 4

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
	○		○	○	○	○	○								

留鳥 (全長 20cm)

体の上面が青灰色で腹部が黄色。「チチン、チチン」と鳴き、昆虫などを捕食します。延岡市の平地から高山の沢、河川、農耕地の用水路などに生息していますが、道路の湿った場所でも見ることがあります。常に尾羽を上下に振りながら採餌します。



セグロセキレイ

セキレイ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Motacilla grandis

選定基準 : 4

河川		宅地 公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
	○	○	○	○	○	○	○							

留鳥 (全長 21cm)

頭部から胸、体の上面は黒く、眉斑と腹部は白いです。宮崎県の方言で「イシタタキ」と言い、尾羽を上下に振り、石を叩くような動作をします。「ジッジッ」「ジージー」などと鳴き、昆虫などを捕食します。延岡市の平地から山地の河川や農耕地などに生息しています。



カワラヒワ

アトリ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Chloris sinica

選定基準 : 4

河川		宅地 公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
	○	○				○		○		○	○	○	○	○

留鳥 (全長 15cm)

全身がオリーブ褐色で、翼に黄色斑があります。「キリキリ、コロコロ、ジーン」と鳴き、草の種子などを採餌します。延岡市の雑木林や河原、農耕地などに生息し、冬は集団で行動します。冬鳥として渡来する亜種オオカワラヒワもいます。



イカル

アトリ科

環境省 RL： -

宮崎県 RL： -

Eophona personata

選定基準： 4

河川		宅地公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
		○				○		○		○	○		○		

留鳥（全長 23cm）

体が灰色で頭が黒く、太い黄色の嘴が特徴です。「キーコーキー」と口笛のような声で鳴き、主に植物の実を食べますが、繁殖期には昆虫なども食べます。延岡市の平地から山地の林に生息し、冬季には群れを作り行動しているのを見かけることがあります。



ホオジロ

ホオジロ科

環境省 RL： -

宮崎県 RL： -

Emberiza cioides

選定基準： 4

河川		宅地公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
	○					○		○	○	○	○	○	○	○	○

留鳥（全長 17cm）

オスは茶褐色で黒い縦斑があり、顔に白と黒の斑があります。メスはオスより淡色です。「チョッピーチリーチョ、チーチク」などと囀り、「一筆啓上仕り候」などと聞きなします。草の種子を主食としますが、昆虫も捕食します。延岡市の明るい林や河川敷、農耕地などに生息しています。



コジュケイ

キジ科

環境省 RL： -

宮崎県 RL： -

Bambusicola thoracicus

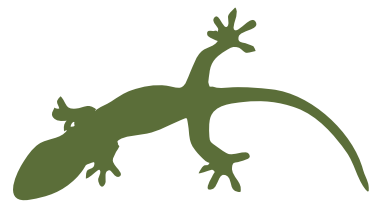
選定基準： 4

河川		宅地公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
								○	○	○	○	○	○		

留鳥（全長 27cm）

上面は橙褐色で黒い横斑があり、下面は淡黄褐色、眉と胸の中央は青灰色で、頬、下胸が赤褐色です。中国原産の帰化鳥で、大正時代に狩猟鳥として輸入、放鳥され、全国的に広がりました。鳴き声から宮崎県内の方言で「チョイトコイ」と言われています。延岡市の平地や低山の藪の多い林に生息し、昆虫や種子、草の葉などを食べます。





4

兩生類 爬虫類

写真・文／末吉豊文

アカハライモリ

イモリ科

環境省 RL： 準絶滅危惧

宮崎県 RL： -

Cynops pyrrhogaster

選定基準： 3, 4

河川		宅地 公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
○	○		○	○	○		○							

体長約 10cm、背面は黒色で腹部はその名のおり赤色をしています。希に背面まで赤色の個体が確認されます。平野部から山地まで広く生息しています。5月から6月にかけて、水草などに卵を1つずつ産みつけます。孵化した幼生は秋までには変態して上陸します。



ニホンヒキガエル

ヒキガエル科

環境省 RL： -

宮崎県 RL： 準絶滅危惧

Bufo japonicus japonicus

選定基準： 1, 2, 3

河川		宅地 公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
○	○				○					○	○		○	○

体長約 12cm、背面から体側にかけて多数の隆起があります。平野部から山地にかけて生息し、1月から3月にかけて生息地周辺の水田、池などにひも状の卵塊を産卵します。オタマジャクシの体色は真っ黒で、他の種類のオタマジャクシと容易に区別ができます。



ニホンアマガエル

アマガエル科

環境省 RL： -

宮崎県 RL： -

Hyla japonica

選定基準： 3

河川		宅地 公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

体長約 3cm、周囲の環境によって体色を変えることができます。平野部の住宅地から山地まで広く生息し、カエル類の中では最も身近に見ることができます。5月から7月にかけて、水田などに産卵します。雨が近づき気圧が下がると「クワッ、クワッ・・・」と鳴きます。



ツチガエル

アカガエル科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Glandirana rugosa

選定基準 : 1, 3

河川		宅地 公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
○	○		○	○	○		○							

体長はオス約4cm、メス約6cm、背面から体側にかけて多数の隆起がありその名がつけました。平野部から山地に分布し、流れがある水域で見られることが多いです。産卵は5月から8月で、孵化したオタマジャクシの一部は越冬し翌春に変態します。



トノサマガエル

アカガエル科

環境省 RL : 準絶滅危惧

宮崎県 RL : 準絶滅危惧

Pelophylax nigromaculatus

選定基準 : 1, 2, 3

河川		宅地 公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
○	○		○	○	○		○							

体長はオス約7cm、メス約8cm、オスの体色は黄緑色、メスは灰褐色をしており、体色で雌雄が区別できます。平野から山地の水田や湿地、その周囲の草原などに生息しますが、近年生息数が減っています。産卵は5月から6月で、1卵塊に約3000個の卵が含まれます。



ニホンアカガエル

アカガエル科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Rana japonica

選定基準 : 1, 2, 3

河川		宅地 公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
○	○		○	○	○		○							

体長はオス約5cm、メス約7cm、体色は赤みがかった茶色をしています。平野から山地の水田や湿地、その周囲の草原などに生息しますが、トノサマガエル同様に近年生息数が減っています。産卵は2月頃で、早春の水田に多数の卵塊を見る場合は本種のことが多いです。



ヤマアカガエル

アカガエル科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Rana ornativentris

選定基準 : 1, 2, 3

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
○	○									○	○		○	○	

体長はオス約6cm、メス約8cm、体色は赤みがかった茶色をしています。ニホンアカガエルに似ていますが、目の後ろから体側にかけての隆起が「く」の字になることで区別ができます。樹林内に生息し、2月から3月にかけて周辺の池や湿地などで産卵します。



ヌマガエル

ヌマガエル科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Fejervarya kawamurai

選定基準 : 3, 4

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
○	○		○	○	○		○								

体長約4cm、体色は茶色がかかった褐色をしており、背中の中央に白色の線（背中線）が入る個体もあります。四肢が短くずんぐりとした体型をしています。背面から体側にかけて多くの隆起がありますが、ツチガエルほどは大きくありません。4月から8月にかけて水田などに産卵します。



シュレーゲルアオガエル アオガエル科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Rhacophorus schlegelii

選定基準 : 3

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
○	○		○		○		○								

体長はオス約4cm、メス約6cm、体色は黄緑色。ニホンアマガエルに似ていますが、鼓膜周辺が黒くならないことで区別できます。2月頃から水田や湿地近くの土の中から鳴き声が聞こえ始め、土中に白い泡状の卵塊を産みます。オタマジャクシは雨とともに水中に流れ出します。



カジカガエル

アオガエル科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Buergeria buergeri

選定基準 : 3

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
○	○														

体長はオス約4cm、メス約6cm、体色は灰褐色で全身を斑模様がおおい、表面はざらざらしています。河川の中流から上流に生息し、すんだ声で鳴きます。4月から8月にかけて、川の中の石の下に卵を産みつけます。孵化したオタマジャクシは石についた藻類を餌とします。



ニホンイシガメ

イシガメ科

環境省 RL : 準絶滅危惧

宮崎県 RL : 絶滅危惧II類

Mauremys japonica

選定基準 : 1, 2

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
○	○		○		○										

甲長約15cm、背甲の色は茶色がかった褐色をしていて、甲の周縁部はのこぎり状の切れ込みがあります。河川の中流から上流や湿地などに生息し、6月から7月に4~10個の卵を穴を掘り産卵します。子ガメはゼニガメと呼ばれています。



ニホンスッポン

スッポン科

環境省 RL : 情報不足

宮崎県 RL : 情報不足

Pelodiscus sinensis

選定基準 : 4

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
○	○		○												

甲長約25cm、背甲は灰褐色、腹甲は薄黄色、甲は柔らかな皮膚におおわれています。吻部は細長い筒状をしていて、独特の顔つきをしています。池や河川の中流から下流に生息し、5月から8月に15~50個の卵を穴を掘り産卵します。



ニホンヤモリ

ヤモリ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Gekko japonicus

選定基準 : 4

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
		○													

全長約 10cm、体色は褐色ですが周囲の色によって変化させることができます。人家やその周辺に生息し、夜間に灯火に集まる虫などを餌としています。天井裏や戸袋などに5月から8月に2～3個の卵を産みます。名前に「ニホン」とありますが、日本列島に侵入した外来種です。



ニホントカゲ

トカゲ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Plestiodon japonicus

選定基準 : 4

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
	○	○				○		○	○	○	○	○	○	○	○

全長約 20cm、体色は光沢のある黄褐色をしていますが、幼体は青みを帯び背に5本の縦縞があります。平野から山地まで広く生息し、5月から6月頃に5～16個の卵を産みます。親は幼体が孵化するまで卵を保護します。



ニホンカナヘビ

カナヘビ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Takydromus tachydromoides

選定基準 : 4

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
	○	○				○		○	○	○	○	○	○	○	○

全長約 20cm、全長の3分の2を尾がしめています。体色は灰褐色でニホントカゲに比べ体表面がかさついた感じがします。平野から山地まで広く生息し、5月から9月頃に1～8個の卵を年1～6回産卵します。孵化した幼体は1年で成熟します。



ジムグリ

ナミヘビ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Euprepiophis conspicillatus

選定基準 : 2

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
									○	○	○	○	○	○	

全長約 80cm、体色は黄褐色で黒色の小さな斑点があります。幼蛇の頃は赤褐色で黒色の横縞があります。平野から山地の林床に生息し、土の中に潜ることも多いです。ネズミなどを餌としています。外敵に襲われると総排出口近くの臭腺から独特の生臭いにおいを出します。



タカチホヘビ

タカチホヘビ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : 情報不足

Achalinus spinalis

選定基準 : 2

河川		宅地 公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
										○	○		○	

全長約 40cm、体色は紫色がかった赤褐色。平地から山地の森林に生息し、夜行性であるので人の目に触れることは少ないです。落ち葉の下や土の中に潜りミミズを餌としています。タカチホヘビの名は、昆虫学者の高千穂宣磨（たかちほのぶまる）男爵に由来しています。



アオダイショウ

ナミヘビ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Elaphe climacophora

選定基準 : 4

河川		宅地 公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
	○	○				○		○	○	○		○	○	

全長約 150cm、日本に生息するヘビの中では最大となり、個体によっては 200cm を超えます。体色は青みがかったオリーブ色、幼蛇はクリーム色に褐色の斑紋が入ります。平野から低山地に生息し、餌となるネズミや鳥を捕るために、人家近くや家の中にも入ることがあります。



シマヘビ

ナミヘビ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Elaphe quadrivirgata

選定基準 : 4

河川		宅地 公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
	○	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○

全長約 100cm、体色は茶褐色でその名のとおりに背面に 4 本の黒色の縦縞があります。幼蛇の頃は赤褐色の横縞が入ります。平野から山地まで生息し、カエルやトカゲ、ネズミなど、様々な生き物を餌としています。シマヘビの黒色型を「カラスヘビ」と呼びます。



ヒバカリ

ナミヘビ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Hebius vibakari vibakari

選定基準 : 2

河川		宅地 公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
	○				○		○	○	○	○	○	○		

全長約 50cm、体色は茶褐色、口角から頸部にかけて黄色の帯があります。平野から山地に広く分布し、小魚やオタマジャクシを餌とし、水田や湿地近くに生息します。夏に 4～6 個の卵を産みます。



シロマダラ

ナミヘビ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : 情報不足

Dinodon orientale

選定基準 : 2

河川		宅地 公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
						○		○	○	○	○	○	○	○

全長約 60cm、体色はやや赤みがかった灰褐色で、黒色の太い横縞があり、幼蛇は体全体が白色で成蛇同様に黒色の太い横縞が入ります。平野から山地に広く生息していますが、人の目に触れることが少なく、捕獲されると話題になります。餌はトカゲやヘビです。



ヤマカガシ

ナミヘビ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Rhabdophis tigrinus

選定基準 : 4

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
	○				○	○	○	○	○	○	○		○	○	

全長約 100cm、体色は褐色に黒色やオレンジ色の斑紋が入りますが、変異が大きく赤味の無い個体や、シマヘビ同様黒色型の個体があります。シマヘビの黒色型とは鱗にあるキールで区別がつけます。平地の水田や湿地近くに生息し、カエルなどを餌とします。



ニホンマムシ

クサリヘビ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Gloydus blomhoffii

選定基準 : 4

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
	○				○	○	○	○	○	○	○		○	○	

全長約 50cm、体色は黒褐色や赤褐色でマムシ特有の銭形状の斑紋があります。胎生で初秋に5~6頭の幼蛇を産みます。平野から山地に広く生息し、水辺などの湿った場所で見かけることが多いです。餌はカエルをはじめ、ネズミや他のヘビやトカゲなどです。



タワヤモリの南限はどこ？

全長約 10 cm で、瀬戸内海周辺に分布する日本固有種です。九州では大分県南部から宮崎県北部に分布し、海岸の岩場や樹林、建物などに生息しています。これまでは五ヶ瀬川より北側のみで確認されており、現在、五ヶ瀬川を南に越えて分布していないか調査しています。

延岡市全域にはニホンヤモリ (46 頁) が生息しており、タワヤモリとニホンヤモリの違いは、

- タワヤモリ…より体色が濃く尾の斑紋がはっきり後脚付け根に1個のいぼ状の突起

- ニホンヤモリ…尾の付け根の斑紋はWの形後脚付け根に約3個のいぼ状の突起

今後のタワヤモリの調査は、延岡市の自然環境を知る手がかりとなります。



タワヤモリ
いぼ状突起が1個



ニホンヤモリ
いぼ状突起が3個

◀ タワヤモリ



祖母・傾・大崩コネスコエコパークに生息するサンショウウオ類

サンショウウオと聞くと国指定特別天然記念物のオオサンショウウオを思い浮かべますが、国内の野山にはオオサンショウウオとは別種で、全長12～20cmの小型サンショウウオ類が28種生息しています。祖母・傾・大崩コネスコエコパークの核心地域と緩衝地域にはソボサンショウウオ、移行地域にはオオイタサンショウウオとベッコウサンショウウオ、そして両方の地域にコガタブチサンショウウオが生息しています。



ソボサンショウウオ

全長約18cm、五ヶ瀬川以北で祖母山、傾山、大崩山周辺に生息しています。



オオイタサンショウウオ

全長約15cm、宮崎県側では熊本県境となる高千穂町に生息しています。



ベッコウサンショウウオ

全長約15cm、九州山地や五ヶ瀬川以南の山地に生息しています。



コガタブチサンショウウオ

全長約12cm、他の3種と異なり幼生は溪流や池ではなく、伏流水中で成長します。

ソボサンショウウオは、以前はオオダイガハラサンショウウオとされていましたが、九州に生息しているものは、ソボサンショウウオ、アマクササンショウウオ、オオスミサンショウウオに分けられ、2014年に新種記載されました。種名のソボは祖母山に由来し、脊椎動物では唯一“ソボ”が名前に付けられた種です。

小型サンショウウオ類の成体（大人）は、普段は陸上の落葉や岩の下で生活しており、産卵期になると水中に入り卵を産みます。卵はカエルの卵のようなゼリー状のものに包まれ、孵化した幼生（子ども）は、写真のように体の外にエラがあります。幼生は半年から1年程で成体になり、陸上で生活をするようになります。



ソボサンショウウオ幼生
頭の後ろにある毛のようなものがエラです。





5

昆虫類

チョウ目

トンボ目

コウチュウ目

カメムシ目

写真・文／安本潤一・小松孝寛・柳田恒一郎・岩切康二

ミヤマセセリ

セセリチョウ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : 準絶滅危惧

Erynnis montana

選定基準 : 1,2,5

河川		宅地公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
								○	○	○			○		

成虫は早春1回の発生で、幼虫はコナラやクヌギを食べます。里山の明るい雑木林や周辺の草原に生息し、延岡市内では須美江町、行藤町などの他、高平山、愛宕山でも見られます。宮崎県レッドリストで準絶滅危惧 (NT-g) に選定されています。



アオバセセリ

セセリチョウ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Choaspes benjaminii

選定基準 : 1,5

河川		宅地公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
	○								○	○	○				

延岡市では、海岸地帯から内陸部まで森林環境の残っている環境に広く生息しています。幼虫はヤマビワを主に利用し、年3回程度の発生とされます。基本的には自然性の高い森林に生息しますが、里山の林縁などでも発生します。近年やや減少傾向にあります。



ジャコウアゲハ

アゲハチョウ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Atrophaneura alcinous alcinous

選定基準 : 2,4,5

河川		宅地公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
	○					○		○	○	○		○		○

海岸地帯を中心に、低地から山地まで広く生息しています。明るい里地、里山付近など、人の手が入った環境によく見られます。幼虫はオオバウマノズクサを主に食べます。初春から成虫は出現し、年3回程度の発生とされます。



ミカドアゲハ

アゲハチョウ科

環境省 RL : -

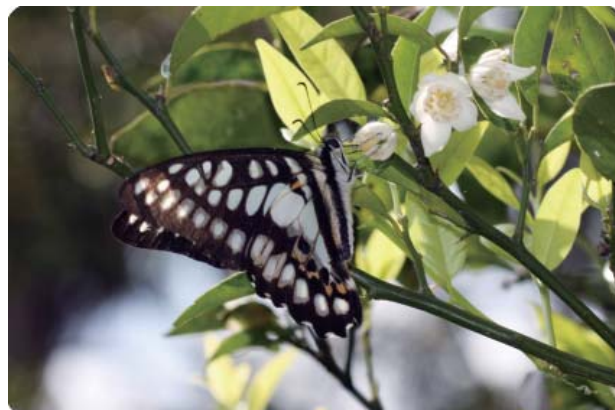
宮崎県 RL : その他保護上重要な種

Graphium doson albidum

選定基準 : 1,2,3,5

河川		宅地公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
		○							○						

食樹（オガタマノキ、タイサンボク）が住宅地の庭や神社付近にあることから、主に人為的な環境に生息しています。食樹と吸蜜植物（トベラ、カナメモチなど）に生息域が制限される可能性があります。宮崎県レッドリストでは、その他保護上重要な種（OT-1）に選定されています。



オナガアゲハ

アゲハチョウ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : 準絶滅危惧

Papilio macilentus

選定基準 : 1,2,4

河川		宅地公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
	○								○	○	○				

自然性の高い森林に多く生息しますが、適度な管理がされている人工林の林縁や沢沿いでもよく見られます。このような環境では、食樹であるコクサギが見られます。海岸部よりも内陸部の方が多く、延岡市での個体数は多くありません。年2回発生を中心に一部3回目の発生も考えられます。宮崎県レッドリストで準絶滅危惧（NT-g）に選定されています。



ミヤマカラスアゲハ

アゲハチョウ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Papilio maackii

選定基準 : 4,5

河川		宅地公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
	○					○			○	○	○				○

海岸地帯から高標高地まで広い範囲で見られます。森林的な環境および自然性の高い森林を好みますが、低標高の里山や海岸地帯でも見られます。カラスアゲハ *Papilio dehaanii* も同じような生息状態で、延岡市内でもよく見られます。両種はよく似ていて慣れないと区別が難しいです。どちらもカラスザンショウが主たる食樹で、年3回程度の発生と思われます。



ツマグロキチョウ

シロチョウ科

環境省 RL : 絶滅危惧 IB 類 宮崎県 RL : 準絶滅危惧

Eurema laeta

選定基準 : 1,2,3,5

河川		宅地公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
	○							○	○						

全国的に激滅しているチョウですが、延岡市では現在のところ普通に見られます。しかしながら、近年やや減少している傾向が見受けられます。適度に管理された河川敷や草原に見られます。本種の食草はカワラケツメイのみと思われ、多くのマメ科を食草とし増加傾向にある近縁のキタキチョウに比べて分布域が狭いです。2017年の環境省レッドリストでは絶滅危惧IB類(EN)に選定されています。



ツマキチョウ

シロチョウ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Anthocharis scolymus

選定基準 : 1, 5

河川		宅地公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
	○	○		○		○				○	○	○		

成虫は早春に1回、可憐な姿を見せてくれます。延岡市では人の手が入っている山村のおよび農村的環境に多く見られます。幼虫はイヌガラシなどのアブラナ科のつぼみ、花、実などを食し、初夏には蛹となりそのまま越冬します。



ベニシジミ

シジミチョウ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Lycaena phlaeas

選定基準 : 4, 5

河川		宅地公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
	○			○		○	○	○	○					

成虫は早春から晩秋まで世代をくり返し、長期間に渡り農地、草原および河川敷に姿を見せます。小型の普通種ですが、ウマノアシガタなどで吸蜜する姿は派手な色彩でよく目立ちます。食草であるスイバは、農地周辺で普通に見られます。



ツバメシジミ

シジミチョウ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Everes argiades

選定基準 : 1

河川		宅地 公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
	○			○		○		○						

ベニシジミと同様、成虫が長期間見られる普通種です。適度に管理された農地、草原および河川敷でよく見られます。食草としてヤハズソウ、クズ、ハギ類などのマメ科植物を利用しており、これらは本種の生息環境に普通に見られます。



ウラギンシジミ

シジミチョウ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Curetis acuta

選定基準 : 3, 4

河川		宅地 公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
	○								○	○	○			○

海岸地帯から低山地を中心に、林縁や耕作地周辺の荒地などに生息しています。マメ科のクズやフジ類などを食草として利用しており、これらがよく生える里地、里山に普通に見られます。裏面全体が銀色の色彩であるところからよく目につきます。ほぼ1年を通して見られますが、秋に多く、成虫で越冬します。



イチモンジチョウ

タテハチョウ科

環境省 RL : -

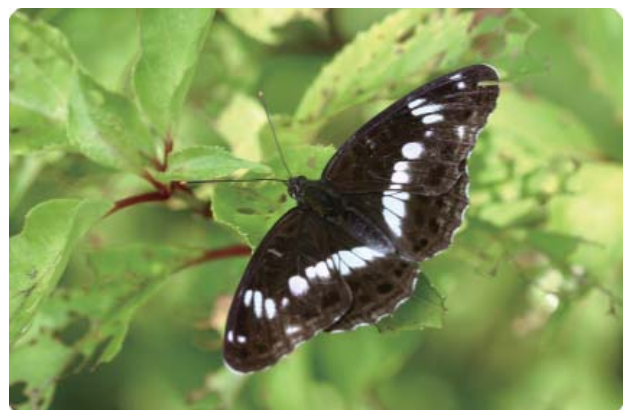
宮崎県 RL : -

Limenitis camilla

選定基準 : 1

河川		宅地 公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
	○								○	○	○			

主な幼虫の食草がスイカズラであることから、林縁、河畔林周辺、耕作地周辺などに生息しています。成虫は樹林環境の良く残っている環境を好み、樹間から地上を敏活に飛翔し、葉上や路上によく翅を広げて静止します。オカトラノオなどへの訪花の他、熟したカキの実への飛来も報告されています。



ヒョウモン類

タテハチョウ科

選定基準：1,2,3,5

河川		宅地公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
	○					○		○	○	○	○			○
	○							○	○	○				○
	○							○	○	○	○			○
	○							○	○	○	○			○

(上からメスグロヒョウモン、クモガタヒョウモン、ミドリヒョウモン、ウラギンヒョウモンの順)

メスグロヒョウモン、クモガタヒョウモン、ミドリヒョウモン、ウラギンヒョウモンなどのヒョウモン類は野生スミレ類を食草とし、適度に草刈りなどで管理された河川敷や農地周辺を主な発生地としています。近年、このような生息環境が減少しており、これらのヒョウモン類も減少してきています。特にクモガタヒョウモン、ウラギンヒョウモンでは減少が著しいです。これらヒョウモン類は、延岡市のような低地においては、夏季に一端

姿を消し秋季に再び姿を見せます。一方、近縁のツマグロヒョウモンはこの仲間では唯一多化性で、夏季休眠もしません。また、野生スミレ類だけでなく、栽培植物のパンジーでも発生をくり返し、減少傾向は見られません。宮崎県レッドリストでクモガタヒョウモンは準絶滅危惧 (NT-g) に、ウラギンヒョウモン (サト型) は絶滅危惧 IB 類 (EN-g) に、ウラギンヒョウモン (ヤマ型) は絶滅危惧 II 類 (VU-r) に選定されています。

メスグロヒョウモン

環境省 RL：－
宮崎県 RL：－

Damora sagana



クモガタヒョウモン

環境省 RL：－
宮崎県 RL：準絶滅危惧

Nephargynnis anadyomene



ミドリヒョウモン

環境省 RL：－
宮崎県 RL：－

Argynnis paphia



ウラギンヒョウモン

宮崎県 RL：絶滅危惧 IB 類 (サト型)
絶滅危惧 II 類 (ヤマ型)

Fabriciana adippe



コミスジ

タテハチョウ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Neptis sappho

選定基準 : 4

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
	○	○							○	○	○	○	○		

ミスジチョウの仲間では最も普通で、長い期間成虫が見られます。人為的な環境でもちょっとした林があればその林縁などで翅を広げて滑空する姿がよく見られます。幼虫は各種ハギ類などマメ科の植物を食べますが、延岡市ではヤブマメ、フジ類が食草として確認されています。



キタテハ

タテハチョウ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Polygonia c-aureum

選定基準 : 3, 4

河川		宅地 公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
	○			○		○		○	○					○

成虫で越冬し、低地を中心にほぼ1年中見られる普通種です。耕作地の周辺、河川敷、空き地などに多く、このような環境には食草であるカナムグラの群落がよく見られます。夏型および秋型の季節型が見られ、その中間型も珍しくありません。ゆっくり滑空しながらの飛行はよく目立ち、各種の花に訪花する他、樹液や落下した果実などにも集まります。



ヒオドシチョウ

タテハチョウ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : 準絶滅危惧

Nymphalis xanthomelas

選定基準 : 3, 5

河川		宅地 公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
	○					○		○	○	○				

河畔林や明るい森林を主な生息地として、エノキを主な食樹としています。成虫は羽化直後(5月中旬~6月)に発生地付近で姿を見せ、その後は姿を消しますが、成虫で越冬し、越冬後の3~4月に再び活発に活動します。鮮やかで特徴的な色彩が目立つチョウです。宮崎県レッドリストで準絶滅危惧 (NT-g) に選定されています。



ヒメアカタテハ

タテハチョウ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Vanessa cardui

選定基準 : 4

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
	○	○	○	○		○		○	○						

延岡市に広く分布し、人の手が入っている河川敷、農地、草原に多く見られます。成虫の活動期間は、早春から晩秋、冬季までと極めて長く、越冬も成虫や幼虫などいろいろなステージで行われるようです。幼虫は生息地付近に普通に見られるヨモギ、ゴボウやアザミなどのキク科の植物を食べます。



タテハモドキ

タテハチョウ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Junonia almana

選定基準 : 2,3,4,5

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
	○	○		○	○	○	○	○	○						

1973年に初めて延岡市への侵入が確認され、その後定着しました。休耕田を中心とした農地などが発生地、成虫は農地をはじめ河川敷、宅地・公園、里山周辺にも出現し、派手な色彩が目立ちます。幼虫は休耕田や水路に見られるオギノツメを主な食草としています。



イシガケチョウ

タテハチョウ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Cyrestis thyodamas mabella

選定基準 : 3,4,5

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
	○								○	○	○				

自然性の高い森林にも生息しますが、人の手が入った里地、里山を中心に生息しています。普通種ですが、市街地には余り出てきません。色彩斑紋、飛び方が独特で目をひきやすいチョウです。幼虫は主にイヌビワを食草としています。



コムラサキ

タテハチョウ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : 準絶滅危惧

Apatura metis

選定基準 : 1,2,5

河川		宅地公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
	○			○					○	○	○			

ヤナギを中心とした河畔林の代表種です。食樹であるヤナギ類への執着が強いです。宮崎県全体でも数は少なく、延岡市でも減少傾向にあります。普通型と黒色型の2つの遺伝型があり、延岡市では両型とも見られます。宮崎県レッドリストで準絶滅危惧 (NT-g) に選定されています。



ゴマダラチョウ

タテハチョウ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Hestina persimilis

選定基準 : 2, 4

河川		宅地公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
	○								○	○	○		○	○

成虫は黒と白のマダラの模様を持ち、樹林の上部を滑空する姿をよく見ます。樹液を好み、クワガタムシなどと共にハルニレなどの樹液に良く集まります。食樹はエノキで、年2~3回程度発生すると思われ幼虫で冬を越します。越冬時は、落ち葉の裏側に糸を張ってジッと春を待ちます。この時は普段緑色をしている幼虫の体色も落ち葉そっくりの色に変わります。



サトキマダラヒカゲ

タテハチョウ科

環境省 RL : -

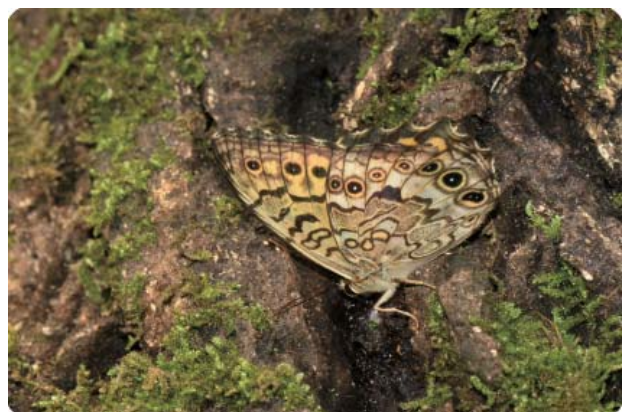
宮崎県 RL : -

Neope goshkevitschii

選定基準 : 2, 4

河川		宅地公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
	○								○	○	○		○	○

海岸地帯から高標高地まで広く分布しますが、低標高地にある里山のササ原、竹林周辺が生息地の中心です。高標高地では近縁のヤマキマダラヒカゲが優勢となりますが、高標高地でも里山的な環境のあるところでは本種の方が優勢である傾向が強く、人為的な環境をより好むと思われ、幼虫はササ類、主にネザサの仲間を食べます。



アゲハモドキ

アゲハモドキガ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Epicopeia hainesii hainesii

選定基準 : 2, 3

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
								○	○	○					○

幼虫はミズキ科の植物を食べます。昼間に飛びますが、夜間灯火にも飛んできます。体内に毒（アリストロキア酸）を持つために捕食されにくいジャコウアゲハのメスに擬態しているという説があります。名前に「アゲハ」が入っていますが、アゲハの仲間ではなく、蛾の仲間です。



オオミズアオ

ヤママユガ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Actias aliena aliena

選定基準 : 4

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
										○	○		○		

幼虫はバラ科、ブナ科、カバノキ科、ミズキ科の植物などを食べます。里山環境にて見ることができ、大型で美しい蛾です。



キンモンガ

アゲハモドキガ科

環境省 RL : -

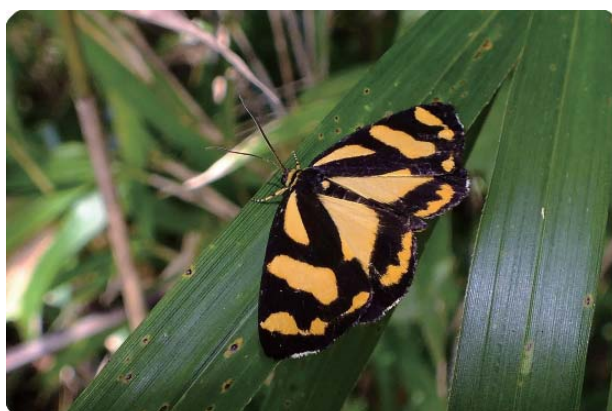
宮崎県 RL : -

Psychostrophia melanargia

選定基準 : 2,3,4,5

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
								○	○	○	○				○

幼虫は里山に生えるリョウブを食べます。成虫については林縁部を昼間に飛んでいる姿を見ることができます。延岡市の里山環境でも目にする事が多く、黒と黄色のコントラストが美しい中型の蛾です。



ホシホウジャク

スズメガ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Macroglossum pyrrhosticta

選定基準 : 4, 5

河川		宅地 公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
	○	○				○		○	○	○				○

幼虫はヘクソカズラを食べます。成虫は初夏から晩秋まで見ることができ、空中に停止するように飛ぶホバリングをしながら花で吸蜜します。林縁部の草地など里山環境で見ることができます。



ヤママユ

ヤママユガ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Antheraea yamamai yamamai

選定基準 : 2, 4

河川		宅地 公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
									○	○	○		○	

幼虫はクヌギやコナラ、クリなどのブナ科植物や、サクラなどのバラ科の植物を食べます。里山環境に生息し、成虫は秋に灯火に飛来します。モスラのモデルとも言われていて、大型の蛾類の代表的存在です。



ヒメヤママユ

ヤママユガ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Saturnia jonasii

選定基準 : 2, 4

河川		宅地 公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
									○	○	○		○	

幼虫はバラ科、スイカズラ科、ブナ科、ミズキ科、カエデ科、ニレ科などの植物を食べる雑食性で、成虫は晩秋に里山に出現します。ヤママユガ科の成虫は口を持っていません。ヤママユよりひと回り小さく、コントラストのある色彩が美しいです。



シンジュサン

ヤマモコガ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Samia cynthia pryeri

選定基準 : 2, 4

河川		宅地公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
		○							○	○	○		○		○

幼虫はミカン科、ブナ科、ニガキ科、クスノキ科などの植物を食べる雑食性です。成虫は神秘的な美しさを持つ大型の蛾類で、年二化（1年間に二世代繰り返す性質）のため春と夏に里山に姿を見せます。



サツマニシキ

マダラガ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Erasmia pulchella nipponica

選定基準 : 2, 3

河川		宅地公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
	○							○	○	○	○				○

ヤマモガシ（ヤマモガシ科）などが幼虫の食樹として知られています。紀伊半島以南に生息している暖地性の種で、南国的な美しい金属光沢を持つ美麗種です。鳥獣の嫌う体液を持ち、天敵から身を守る習性があります。昼間に樹上を乱舞することもあります。



ホタルガ

マダラガ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Pidorus atratus

選定基準 : 2

河川		宅地公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
		○				○		○	○	○					○

黒地に白い帯を持ち、頭部の赤とともにコントラストの美しい昼光性の蛾です。幼虫はサカキやヒサカキを食べるため、これらが植えられている神社や林縁の宅地などの里山環境で見ることができます。



ヒョウモンエダシャク

シャクガ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Arichanna gaschkevitchii

選定基準 : 2, 3

河川		宅地 公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
		○				○		○	○	○				

幼虫はアセビなどを食べます。アセビのある林縁部や公園などの里山環境で見ることができます。その名の通りヒョウ柄模様を持ち、チョウのように昼間に花に吸蜜に集まります。



クチバスズメ

スズメガ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Marumba sperchius

選定基準 : 2, 3

河川		宅地 公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
									○	○		○		

幼虫はクリ、クヌギ、コナラ、カシ類などのブナ科の樹木を食べます。里山環境に生息し、成虫は初夏から夏にかけて発生し、灯火に飛来します。その名の通り、朽ちた葉っぱのような色彩をしている大きな蛾ですが、成虫は口が退化しており何も食べません。



イカリモンガ

イカリモンガ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Pterodecta felderi

選定基準 : 2, 3

河川		宅地 公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
								○	○	○				○

幼虫はシダ植物を食べます。成虫は里山環境の林縁や林内をチョウのように昼間に飛び、花で吸蜜します。延岡市での記録は少ないです。



アサヒナカワトンボ

カワトンボ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Mnais pruinosa

選定基準 : 1, 2

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
○	○								○						

早春から夏季まで市内の海岸地帯から内陸部まで生息していますが、やや内陸部の山村的環境の溪流沿いや小川でよく見られます。オスの翅には透明翅型、橙色翅型およびチャバネ型が見られます。



ハグロトンボ

カワトンボ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Atrocaopteryx atrata

選定基準 : 4

河川		宅地 公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
○	○		○	○	○		○		○			○		○

延岡市では海岸地帯から内陸部までの広い地域において、水路、小川、休耕田、湿地などに生息しています。初夏から秋まで、このような環境が残っているところで普通にみることができ、個体数も多いです。黒色の翅で独特な飛び方をし、認知度も高いです。



ガンバイトンボ

モノサシトンボ科

環境省 RL : 準絶滅危惧

宮崎県 RL : 絶滅危惧 IB 類

Platycnemis foliacea sasakii

選定基準 : 2, 5

河川		宅地 公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
○	○			○	○									

延岡市での生息地は北川町家田湿原に集中していますが、その希少さ、認知度から延岡市を代表するトンボのひとつです。オスは中脚と後脚に軍配状の膨らみがあり識別が容易ですが、メスは同定に注意を要します。近年家田湿原では、生息範囲は狭まり、個体数も減少してきています。宮崎県レッドリストで絶滅危惧 IB 類 (EN-r) に選定されています。



キイトンボ

イトトンボ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Ceriagrion melanurum

選定基準 : 4

河川		宅地 公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
○	○		○	○	○									

体色が黄色い唯一のイトトンボで、他種と容易に識別できます。延岡市の水辺では海岸部から内陸部まで普通に生息しています。里地の池や沼、湿地を代表する種で、5月から10月頃まで長い期間にわたって見られます。



オニヤンマ

オニヤンマ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Anotogaster sieboldii

選定基準 : 1,2,4

河川		宅地 公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
○	○								○	○	○			

山村的環境の沢沿いなどを主な生息環境としています。延岡市では愛宕山や高平山の路上でもよく見られます。大型のヤンマで市民の認知度は高く、よく似た種も多いです。



ショウジョウトンボ

トンボ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Crocothemis servilia mariannae

選定基準 : 1,3

河川		宅地 公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○			

低地の植物の多い池や沼で6月頃からよく見られます。本種は大型のアカトンボで、特に成熟したオスは、赤い派手な色彩がよく目立ちます。



シオカラトンボ類

トンボ科

Orthetrum spp.

選定基準： 4

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				

延岡市ではオオシオカラトンボとシオカラトンボの2種が生息しており、どちらも普通に見られます。両種ともオスとメスの色彩はかなり異なり、メスは黄褐色で、シオカラトンボのメスはその色から「ムギワラトンボ」とも呼ばれます。海岸部から内陸部にかけての里地、里山の小川、池沼、水田、小さな水溜まりなどに普通に見られ、認知度も高いです。

オオシオカラトンボ

環境省 RL：－
宮崎県 RL：－

Orthetrum melania



シオカラトンボ

環境省 RL：－
宮崎県 RL：－

Orthetrum albistylum speciosum



赤トンボ類

トンボ科

Sympetrum spp.

選定基準： 1, 3, 4

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				

これらの仲間、「赤とんぼ」の総称として認知度は高いですが、これらの種類の識別には専門的な知識が必要ですので「赤トンボ類」としてまとめています。移動性を持つ種もありますが、延岡市では里地、里山を主な生息地としています。移動性を持ち、延岡市では越冬できないウスバキトンボ（次頁※）は、これらの赤トンボ類とは異なる生態を持っている種ですが、最も身近に見かけるトンボのひとつです。

ナツアカネ

環境省 RL：－
宮崎県 RL：－

Sympetrum darwinianum



アキアカネ

環境省 RL：－
宮崎県 RL：準絶滅危惧

Sympetrum frequens



ヒメアカネ

環境省 RL：－
宮崎県 RL：準絶滅危惧

Sympetrum parvulum



マイコアカネ

環境省 RL：－
宮崎県 RL：絶滅危惧II類

Sympetrum kunkeli



マユタテアカネ

環境省 RL：－
宮崎県 RL：－

Sympetrum eroticum eroticum



ミヤマアカネ

環境省 RL：－
宮崎県 RL：－

Sympetrum pedemontanum elatum



ノシメトンボ

環境省 RL：－
宮崎県 RL：－

Sympetrum infuscatum



コノシメトンボ

環境省 RL：－
宮崎県 RL：－

Sympetrum baccha matutinum



リスアカネ

環境省 RL：－
宮崎県 RL：－

Sympetrum risi risi



※ウスバキトンボ

環境省 RL：－
宮崎県 RL：－

Pantala flavescens



ニワハンミョウ

ハンミョウ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Cicindela japona

選定基準 : 2

河川		宅地 公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
	○					○			○					

15-20mmの中型の昆虫です。体は暗銅色から暗緑色（遠くから見ると茶色）で、翅に白い紋があります。平地から山地の道路や開けた地面などの日当たりの良い場所で見ることができ、他の昆虫を捕らえて食べます。幼虫は地面にたて穴を掘って住み、そばを通りかかる他の昆虫を食べます。



ハンミョウ

ハンミョウ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Cicindela japonica

選定基準 : 4

河川		宅地 公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
	○	○				○			○					

18-23mmの中型の昆虫です。青色、赤色、緑色の鈍い美しい光沢があり、大あごと長い脚を持ちます。人が近づくと少し飛んですぐに止まるので、「道おしえ」とも呼ばれています。成虫、幼虫ともに肉食で、他の昆虫を捕らえて食べます。人家近くから山地までの裸地、林道、砂地などに生息しています。



マイマイカブリ

オサムシ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Damaster blaptoides

選定基準 : 2

河川		宅地 公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
	○				○	○			○	○	○		○	

25-65mmの大型の昆虫です。平地から丘陵地に生息し、飛ぶことができないために地上を歩きまわって生活しています。カタツムリ（マイマイ）を食べることから、マイマイカブリという名前が付いています。トラップで採集されることが多いですが、あまりたくさんは採れません。林道などでは日中に歩いている姿を見ることがあります。



ハイロゲンゴロウ

ゲンゴロウ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Eretes sticticus

選定基準 : 3, 4

河川		宅地 公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
○			○	○	○		○							

10-16mmの中型のゲンゴロウです。人工的な水域や植生がほとんどないようなため池、水田、水溜まりにも生息している最も目にしやすいゲンゴロウのひとつです。学校のプールなどで見かけることもあります。



シマゲンゴロウ

ゲンゴロウ科

環境省 RL : 準絶滅危惧

宮崎県 RL : 準絶滅危惧

Hydaticus bowringii

選定基準 : 1, 2, 3

河川		宅地 公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
			○		○		○							

12-14mmの中型のゲンゴロウです。背中の斑紋と黄色い縞模様が特徴的で美しい種です。山地から低山地の植物が豊富なため池や、条件のよい水田や休耕田でも見られます。全国的には減少している種です。



コシマゲンゴロウ

ゲンゴロウ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Hydaticus grammicus

選定基準 : 3, 4

河川		宅地 公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
			○		○		○							

9-11mmの中型のゲンゴロウです。シマゲンゴロウと名前が似ていますが、本種の方が小さく、体の色や模様が全く異なります。ため池や水田に生息しており、延岡市内では全域で見ることができます。



コガタノゲンゴロウ

ゲンゴロウ科

環境省 RL : 絶滅危惧Ⅱ類 宮崎県 RL : 準絶滅危惧

Cybister tripunctatus

選定基準 : 1, 2, 3

河川		宅地公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
○			○											

24-29mmの大型のゲンゴロウです。全国的に減少が激しく、2017年の環境省レッドリストでは絶滅危惧Ⅱ類に選定されています。宮崎県では比較的見ることができ、延岡市では平野部から低山地にかけて生息しています。主に植生の豊富なため池に生息しており、灯火にも飛来します。



ヒメミズスマシ

ミズスマシ科

環境省 RL : 絶滅危惧ⅠB類 宮崎県 RL : 絶滅危惧Ⅱ類

Gyrinus gestroi

選定基準 : 1, 2, 3

河川		宅地公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
			○	○	○									

4-5mmの水生昆虫で、水面をすばやく泳ぐミズスマシの仲間です。眼が上下に分かれていて、水上と水中を同時に見ることができます。黒色で光沢があり、ミズスマシやコミズスマシなどととてもよく似ています。水生植物の多いため池や小さな川に生息しています。近年、ミズスマシの仲間（他にミズスマシ、コミズスマシ、オオミズスマシなど）は減少が著しいです。



ガムシ

ガムシ科

環境省 RL : 準絶滅危惧 宮崎県 RL : -

Hydrophilus acuminatus

選定基準 : 1, 2, 3

河川		宅地公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
			○		○		○							

35-40mmの大型のガムシです。大きさからゲンゴロウと間違えそうになりますが、後脚はゲンゴロウのようにオール形になっていません。植物の豊富なため池や休耕田などに生息しています。時折、灯火にも飛来します。延岡市ではまだ見ることができ、全国的には減少している種です。



ミヤマクワガタ

クワガタムシ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Lucanus maculifemoratus

選定基準 : 2

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
									○	○	○		○		

オス 30-75mm、メス 25-45mm の比較的大型のクワガタです。大型のオスは頭部の張り出しが大きくなります。クヌギやハルニレなどの樹液に集まり、灯火にも飛んできます。宮崎県では低山地から山地に生息しています。メスは光沢があり、脚に黄褐色の紋があります。



ノコギリクワガタ

クワガタムシ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Prosopocoilus inclinatus

選定基準 : 2

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
	○								○	○	○		○		

オス 25-70mm、メス 20-40mm の大型の個体から小型の個体までいるクワガタです。クヌギやハルニレなどの樹液に集まり、灯火にも飛んできます。昼間に活動していることも多いです。低地の雑木林を中心に生息し、コクワガタとともに目にする機会の多い種です。メスは少し赤みがある個体が多く、体は厚みがあります。



ヒラタクワガタ

クワガタムシ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Dorcus titanus

選定基準 : 2

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
	○								○	○	○		○		

オス 20-80mm、メス 20-40mm の大型の個体から小型の個体までいるクワガタです。クヌギやハルニレなどの樹液に集まり、灯火にも飛んできます。昼間は樹皮の下や樹洞などでじっとしていることが多いです。幼虫はいろいろな広葉樹の朽ち木で生活しています。メスは光沢が強く、ノコギリクワガタやミヤマクワガタと比較して平たいです。



コクワガタ

クワガタムシ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Dorcus rectus

選定基準 : 4

河川		宅地公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
	○	○							○	○	○		○		

オス 22-50mm、メス 20-30mm の最も目にする機会が多い小型のクワガタです。クヌギやハルニレなどの樹液に集まり、灯火にも飛んできます。幼虫はいろいろな広葉樹の朽ち木で生活しています。メスは他のクワガタと似ていますが、上翅(羽)がツヤ消し状で、会合線(左右の翅の中心線)に光沢があります。



オオセンチコガネ

センチコガネ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Phelotrupes auratus

選定基準 : 2

河川		宅地公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
								○	○	○	○	○			○

15-22mm の中型のコガネムシで、赤紫、紫、青紫、金緑色などの強い金属光沢をもつ美しい種です。林内の獣糞や放牧地の牛糞などに依存して生活している糞虫の仲間、地面近くを飛翔したり、歩いたりしています。最近のシカの増加により、目にする機会が増えている種です。



カブトムシ

コガネムシ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Trypoxylus dichotomus

選定基準 : 4

河川		宅地公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
	○								○	○	○		○		

オス 27-59mm (角は除く)、メス 33-53mm の大型の甲虫です。大きな角を持ち、子供達に人気があり、非常になじみ深い昆虫のひとつです。クヌギやハルニレの樹液に集まり、灯火にも集まります。幼虫は朽ち木やたい肥で育ち、幼虫期の栄養状態により角の大きさや体の大きさに差が出ます。野生の成虫は遅くとも9月頃には死亡し、成虫で越冬することはありません。



カナブン

コガネムシ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Pseudotorynorrhina japonica

選定基準 : 4

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
	○								○	○	○		○		

22-31mm のやや大型の **コガネムシ** の仲間です。背中の色は金属光沢のある赤銅色から緑黄色まで変異が大きいです。平地から低山地に生息し、成虫はクヌギやハルニレなどの樹液や熟した果実にも集まります。幼虫の生態は分かっていませんでしたが、近年クズ群落内の腐植質から多数発見されました。緑色の個体はアオカナブンと似ていますが、お腹側の後脚の付け根が離れているのが本種の特徴です。



シロテンハナムグリ

コガネムシ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Protaetia orientalis

選定基準 : 4

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
	○	○							○	○	○		○		○

20-26mm のやや大型の **コガネムシ** の仲間です。クヌギやハルニレなどの樹液やネズミモチなどの花に集まります。幼虫は腐葉土や堆肥だけでなく、雑草の堆積物などでも育つことができます。環境の悪化にも比較的強く、都市公園や緑地でも見ることができます。同じ仲間のシラホシハナムグリとは頭の形（頭楯）で見分けることができます。



タマムシ

タマムシ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Chrysochroa fulgidissima

選定基準 : 1, 2

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
	○								○	○	○		○		○

24-40mm の大型の、金属光沢の非常に美しい甲虫です。成虫は6月から8月にかけて出現し、エノキ、ケヤキ、サクラ類などの葉を食べ、産卵のためにエノキなどの枯れ木に集まります。日当たりが良く大きなエノキのある場所や、伐採木があるような場所で見ることができます。



ヒゲコメツキ

コメツキムシ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Pectocera hige

選定基準 : 2

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
									○	○	○		○		

24-30mmの大型のコメツキムシです。コメツキムシの仲間は仰向けにすると、パチンと音を立てて跳ね上がります。これが昔の米をつく動作に似ていることからこの名前があります。本種は平地から丘陵地に生息し、灯火にも飛来します。体は赤褐色で、黄白色の細かい紋をもち、オスは特徴がなくし状の長い触角を持ちます。



ゲンジボタル

ホタル科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Luciola cruciata

選定基準 : 2, 3

河川		宅地 公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
○	○			○										

10-18mmの大型のホタルです。平地から里山の細流付近で見られ、夜間には活発に飛翔します。幼虫は流れる水の中に生息し、カワニナなどの貝類を食べて成長します。成長した幼虫は、春になると上陸し、川岸の土の中にもぐりこみ、さなぎになります。延岡市では北川町の小川沿いのホタルが有名で、多くの見物客が訪れます。



ヘイケボタル

ホタル科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : 絶滅危惧II類

Luciola lateralis

選定基準 : 1, 2, 3

河川		宅地 公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
					○		○							

7-10mmの中型のホタルです。平地から山地の水田や休耕田、湿地などで見られます。幼虫は止水に生息し、タニシ類やモノアラガイなどの貝類を食べて成長します。光の点滅はゲンジボタルとは異なり、ヘイケボタルの方が早く点滅します。ゲンジボタルと比べると生息地が減少しており、宮崎県レッドリストでは絶滅危惧II類に選定されています。



ヒメボタル

ホタル科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : 準絶滅危惧

Luciola parvula

選定基準 : 2

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
											○	○			

5-9mm の小型のホタルです。ゲンジボタルやヘイケボタルとは異なり、本種は平地から山地の森の中で生活しています。幼虫は陸生の小型のカタツムリを食べて成長します。光り方もゲンジボタルやヘイケボタルとは異なり、1秒間隔程度のフラッシュ光の点滅を行います。ヒメボタルの生息には比較的暗い林と小型カタツムリの生息できる環境が必要です。



ナナホシテントウ

テントウムシ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Coccinella septempunctata

選定基準 : 4

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
	○	○				○		○							○

5-7mm で、7つの黒点がある最もなじみ深いテントウムシです。平地から山地の、草原、林縁、河原の土手に普通に見られ、春の早いうちから活動を始めます。肉食性の昆虫で、成虫、幼虫ともにアブラムシを食べます。本種は背中上の斑紋が安定していますが、似た種のナミテントウは斑紋に変化が多いです。



ニホンキマワリ

ゴミムシダマシ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Plesiophthalmus nigrocyaneus

選定基準 : 2

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
									○	○	○		○		

16-20mm の比較的大型の甲虫です。平地から山地の林内で見られ、立ち枯れ木、椎茸ほだ木（椎茸を育てるための伐採した枝）、薪などに集まります。昼間でも行動しているため、目につきやすい甲虫です。体色は鈍い光沢のある黒色から黒っぽい緑色で、前脚が体に比べて長いのが特徴です。



ベニカミキリ

カミキリムシ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Purpuricenus temminckii

選定基準 : 2

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
									○					○	

12-17mm の中型のカミキリムシです。ホシベニカミキリに似ていますが、通常、本種の前翅には黒点はありません。平地から低山地の里山に生息し、成虫は花に集まります。幼虫はマダケやモウソウチクの伐採木や衰弱木で育ちます。



ホシベニカミキリ

カミキリムシ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Eupromus ruber

選定基準 : 2

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
		○							○		○				

18-25mm の中型のカミキリムシです。鮮やかな赤い色が目立ち、前翅に10数個の黒点があります。主に平地から低山地に生息しています。照葉樹林の代表的な樹木であるタブノキで発生するため、公園などに植栽されたタブノキでも見かけることがあります。



シロスジカミキリ

カミキリムシ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Batocera lineolata

選定基準 : 2

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
									○	○	○		○		

40-55mm の非常に大型のカミキリムシです。前翅に黄色の紋がありますが、死ぬと白くなります。主に平地から低山地の里山に生息しています。メスはシイ、クヌギ、クリなどのブナ科の生木に産卵するので、クリ畑などでは害虫ですが、里山の雑木林の世代交代を促す一面も担っています。



アカガネサルハムシ

ハムシ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Acrothinium gaschkewitchii

選定基準 : 2

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
	○					○		○	○						○

5-7mmの小型の甲虫です。前翅は赤銅色で、その他は金緑色に輝く非常に美しいハムシです。平地から山地の畑や林縁などでよく見られ、ノブドウやエビヅルなどのブドウの仲間の葉を食べます。そのため、ブドウの害虫として知られています。



ヒメクロオトシブミ

オトシブミ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Apoderus erythrogaster

選定基準 : 2

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
		○							○	○	○		○		

5mm前後の小型の甲虫です。オトシブミの仲間は、広葉樹の葉っぱを巻いて、幼虫が育つための揺籃（ゆりかご）を作ります。葉っぱに飛んできたメスは、葉の大きさを調べて、切れ込みを入れたりかみ傷を入れたりしながら、葉を折り込みながら巻いていきます。円筒型の巻物ができたら完成です。葉っぱのゆりかごの中で生まれた幼虫は、その中で育ち、さなぎになって成虫になります。



オオゾウムシ

オサゾウムシ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Sipalinus gigas

選定基準 : 2

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
									○	○	○		○		

12-29mmの大型のゾウムシです。ゾウムシ類は口吻がゾウの鼻のように長く下に伸びていることからこの名前が付いています。本種は平地から山地のクヌギなどの樹液に集まり、灯火にも飛来します。幼虫は枯れたり伐採されたりしたマツやクヌギなどの樹木や切り株に入って、材部を食べて成長します。体は非常に硬く、でこぼこした外骨格に覆われています。



タイコウチ

タイコウチ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Laccotrephes japonensis

選定基準 : 1, 3

河川		宅地公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
○	○		○	○			○							

前脚を交互に持ち上げて歩く姿から太鼓打ちの名が付けました。水田・ため池・小川などで見られますが、陸上の土内部に産卵します。食物連鎖の上位に位置するので、タイコウチがいる環境は生物種の多い自然豊かな里山と言えます。家田湿など水辺が自然状態のままの所に多く見られ、無鹿町などでも確認されています。近年の急激な個体数の減少は、冬に農業用水路に水を流さなくなり、越冬場所が失われたためとの説もあります。



ミズカマキリ

タイコウチ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Ranatra chinensis

選定基準 : 1, 3

河川		宅地公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
○	○		○	○			○							

水田・水路・ため池・小川のよどみに生息しています。タガメやタイコウチが水平にカマを動かすのに対し、カマを垂直に立てて餌を捕食するので、ミズカマキリと呼ばれています。陸上の土内部に産卵し、水と陸の境界域で生活するため、護岸がコンクリートで固められると生息できなくなります。延岡市内では無鹿町や西階町の学校のプールにも飛来した記録があります。



コオイムシ

コオイムシ科

環境省 RL : 準絶滅危惧

宮崎県 RL : 準絶滅危惧

Appasus japonicus

選定基準 : 4

河川		宅地公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
○			○	○			○							

メスがオスの背中中に卵を産み、孵化するまでオスが保護するので「子負い虫」と呼ばれています。水田・水路・ため池・小川のよどみなどで見られます。水中だけでライフサイクルを完結できるので、護岸が固められても生息でき、水生カメムシの中では近年数が回復しつつあります。最新の環境省レッドリストで準絶滅危惧 (NT) に、宮崎県レッドリストで準絶滅危惧 (NT-g) に選定されています。



タガメ

コオイムシ科

環境省 RL : 絶滅危惧II類 宮崎県 RL : 絶滅危惧II類

Kirkaldyia deyrolli

選定基準 : 1, 3

河川		宅地 公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
○			○	○			○							

日本で最大のカメムシです。かつては延岡市内でも多く見られ、水田などで小魚やカエルを捕食する食物連鎖の最上位にいました。1980年代に大貫町での確認例もありますが、農薬の影響で数を減らし、最近では貝の畑町などで僅かに記録があるだけです。他の水生昆虫に比べて農薬の影響をもっとも大きく受ける種です。環境省レッドリストで絶滅危惧II類 (VU) に、宮崎県レッドリストで絶滅危惧II類 (VU-g) に選定されています。



マツモムシ

マツモムシ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Notonecta (Paranecta) triguttata

選定基準 : 4

河川		宅地 公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
○			○	○			○							

水田・ため池・小川などに生息します。水面近くで腹部を上にして泳ぎ、水面に浮いた水草に産卵し、冬も水中にいます。護岸が固められても生息でき、水草もそれほど必要としないため、環境破壊には比較的強い種です。攻撃的なので、素手で捕まえると刺されることがあります。稲葉崎町などの水田地帯に多く生息しています。水面に落ちた餌を巡ってアメンボと競合関係にありますが、より大きい餌を捕まえることができます。



オオアメンボ

アメンボ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : 準絶滅危惧

Aquarius elongatus

選定基準 : 1, 3

河川		宅地 公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
○			○		○									

たくさんいるアメンボの中でも、一目見て分かる大きなアメンボです。体の側面が銀灰色になり、メスよりオスの方が体が大きいです。特にオスの中脚は長くて、腿節だけで体長より長くなります。山に近いため池などで見かけますが、最近では数が少なくなってきており、宮崎県レッドリストでは準絶滅危惧 (NT-g) に選定されています。



オオトビサシガメ

サシガメ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Isyndus obscurus

選定基準 : 2

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
									○	○					

茶褐色をした大型のサシガメで、広葉樹の生える山地の樹上に多く、小さな昆虫などを捕食します。動きは鈍いですが、捕まえると刺すので注意が必要です。延岡市内では、鹿川や祝子川上流域の山里で姿を見ることが多いです。



トビイロサシガメ

サシガメ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Oncocephalus assimilis

選定基準 : 2

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
	○	○				○		○	○						

地表性で草地の植物の根ぎわや石の下などにいます。海岸近くでは、良く似たモモトトビイロサシガメが多いです。トビイロサシガメは延岡市街地の恒富町や、やや郊外の夏田町でも見ることができます。東浜砂町など海岸近くに行くとモモトトビイロサシガメが多くなります。



ノコギリヒラタカメムシ

ヒラタカメムシ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Aradus orientalis

選定基準 : 2

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
										○	○	○			

腹の両脇がノコギリ状になるヒラタカメムシで、枯木に生えたカワラタケなどのキノコを好みます。林道や農道に積んである倒木や伐採木の、キノコが付いている付近の樹皮をめくると見つかることが多いです。



ヨコヅナツチカメムシ

ツチカメムシ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Adrisa magna

選定基準 : 4

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
		○								○	○				

体長約 2 cm で、ツチカメムシの中では飛び抜けて大きい種です。照葉樹林の落ち葉の下や地表にいたので目に付きにくいですが、土々呂町などの海岸に近いところにも生息しています。夜間に灯火で見かけることが多いです。



ベニツチカメムシ

ツチカメムシ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : 準絶滅危惧

Parastrachia japonensis

選定基準 : 2

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
										○	○				

紅色に大きな黒紋のある綺麗な種です。ボロボロノキが生える照葉樹林内に生息しています。子育てをする昆虫として有名で、ボロボロノキの実を餌として幼虫に運びます。延岡市付近では市街地に近い照葉樹林でも、ボロボロノキがあれば見つかることが多いです。宮崎県レッドリストで準絶滅危惧 (NT-g) に選定されています。



オオキンカメムシ

キンカメムシ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Eucorysses grandis

選定基準 : 2

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
										○					

照葉樹林内のアブラギリなどで繁殖する橙赤色に黒色紋がある大型のカメムシです。幼虫はアブラギリの実で多く見られ、成虫は海岸近くのツバキやトベラなど常緑広葉樹の葉裏で越冬します。延岡市では今山など市内の社寺に残る照葉樹林でも見つかります。



アカスジキンカメムシ

キンカメムシ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Poecilocoris lewisi

選定基準 : 2

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
										○		○			

金緑色と赤橙色の帯状模様で美しく彩られています。カメムシの中では珍しく幼虫で越冬します。針広混交林に生息していますが希な種類です。さまざまな樹の実で育ちますが、宮崎県ではキブシの実を好んでいるようです。延岡市周辺では行藤町や上祝子など奥山に近い山里で見つかることが多いです。



アカスジカメムシ

カメムシ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Graphosoma rubrolineatum

選定基準 : 2

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
								○	○						

山地から海岸近くまで広範囲に生息しています。セリ科植物に依存しており、山地ではシシウドなど、海岸近くではボタンボウフウなどで見つかります。赤と黒の縦縞が、セリ科の白い花の上でよく目立つので目に付きやすいです。延岡市では平原町の市街地や北浦町の海岸でも見つかります。



エサキモンキツノカメムシ

ツノカメムシ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Sastragala esakii

選定基準 : 4

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
		○								○	○				

背中ハートマークが特徴的なカメムシで、ミズキやカラスザンショウの生える二次林や自然林で広く見られます。メスが卵~若齢幼虫を守る習性があり、葉に産んだ卵塊の上でじっとしているときは、少しぐらい突いても動きません。成虫で越冬するので、冬に落葉した樹木下の枯葉を探すと見つかることもあります。延岡市内周辺の林には広く生息しています。



ニイイゼミ

セミ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Platypleura kaempferi

選定基準 : 4

河川		宅地 公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
	○	○								○	○			

サクラやケヤキを好み、里山の広葉樹林で見られますが、市街地では減少しています。ビワやミカンなどの果樹園で大発生することもあります。



アブラゼミ

セミ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Graptopsaltria nigrofuscata

選定基準 : 4

河川		宅地 公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
	○	○								○	○			

北海道から九州まで分布する日本のセミの代表種です。いろいろな樹木で生育しますが、ケヤキやサクラを好み、市街地の公園や宅地の庭でも見られます。延岡市内でも7月中旬から初秋まで各所で「ジー・ジー」という鳴声が聞こえます。



ハルゼミ

セミ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : 準絶滅危惧

Terpnosia vacua

選定基準 : 2

河川		宅地 公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
										○	○	○		

マツ林に生息していますが、都市周辺部では激減しています。ヒメハルゼミより出現期は早く、延岡市では5月頃に、高平山などの山地でマツの生えている場所に行くと、「ムゼー・ムゼー・ギー」という鳴声が聞こえます。宮崎県レッドリストで準絶滅危惧 (NT-g) に選定されています。



ヒメハルゼミ

セミ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Euterpnosia chibensis

選定基準 : 2

河川		宅地 公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
											○			

比較的年数の経った照葉樹林帯に生息しています。6月下旬から7月上旬の日没前後に、北川町、北方町や行藤町の照葉樹の林に入ると、「ヴィーン・ヴィーン」という大合唱が聞こえます。



ヒグラシ

セミ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Tanna japonensis

選定基準 : 4

河川		宅地 公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
										○	○	○		

スギ・ヒノキの針葉樹林に多く、明け方や夕暮れ時に「カナカナカナ…」と合唱します。日中は木の下の方に止まっているので、林道を歩いていると足元から飛び上がることがあります。行藤町や北方町などの山間部では、7月中旬から8月上旬によく鳴声が聞こえます。



ミンミンゼミ

セミ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Hyalessa maculaticollis

選定基準 : 4

河川		宅地 公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
										○	○			

東日本では平地に、西日本では山地に多い種類ですが、宮崎県では海岸沿いの広葉樹林帯にも生息しています。延岡市内では北浦町の海岸沿いの山で鳴声を聞くことが多いです。





貝類

写真・文／西 邦雄

ヤマクルマガイ

ヤマクルマガイ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Spirostoma japonicum japonicum

選定基準 : 4

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
	○	○							○	○	○				

里山や里地でよく見られるカタツムリです。人家近くのちょっとした林でも見られます。フタを持っており、フタの形が円錐形でとんがり帽子のような形をしています。海に棲むクルマガイに形が似ていて、山に棲んでいるのでヤマクルマガイです。



アズキガイ

アズキガイ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Pupinella (Pupinopsis) rufa

選定基準 : 4

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
	○	○							○	○	○				

大きさ・色・形がアズキに似ているのでこの名前があります。人家の庭や公園など里地に多く生息しており、目につきやすいカタツムリです。雨の日には人家のブロック塀をよく這っています。平たい円形のフタを持っています。



ヒメオカモノアラガイ

オカモノアラガイ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Neosuccinea horticola

選定基準 : 4

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
	○	○				○		○							

人家の庭や花壇などで見かけるカタツムリです。晴れた日はなかなか見られませんが、雨の日は元気がよく動き回ります。小さくて色が地味なので目立ちませんが、雨の日にブロック塀などを注意して観察すると見つかるかもしれません。殻の巻き数が少なく、殻が開いた形をしているのが特徴です。



シイボルトコギセル

キセルガイ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Phaedusa sieboldtii

選定基準 : 4

河川		宅地 公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
	○	○												

人家の木や神社の木などで見られる細長いカタツムリです。殻の形がタバコを吸うときの煙管（きせる）に似ているキセルガイの仲間です。名前に「ガイ」とつくのは、カタツムリが貝の仲間だからです。幕末に日本に来た、有名なドイツ人の医者であるシーボルトの名前が付いています。



ナミギセル

キセルガイ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : 絶滅危惧II類

Stereophaedusa (Stereophaedusa) japonica japonica

選定基準 : 4, 5

河川		宅地 公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
	○	○						○	○	○				

これもキセルガイの仲間、細長い形をしています。ナミギセルのナミは「並」で普通にいることを表しています。全国的には普通ですが、宮崎県はこの種の南限で県内では今のところ延岡市だけでしか生息が確認されていません。



ヒロクチコギセル

キセルガイ科

環境省 RL : 絶滅危惧I類 宮崎県 RL : 絶滅危惧IA類

Reinia variegata

選定基準 : 2, 5

河川		宅地 公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
	○									○				

全国的にも絶滅が心配され、環境省のレッドリストでは最も絶滅が心配される絶滅危惧I類に選定されている貴重なキセルガイです。キセルガイにしてはズンズンした形をしています。この種は宮崎県では延岡市だけでしか確認されていません。



コベツマイマイ

ナンバンマイマイ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Satsuma (Satsuma) myomphala myomphala

選定基準 : 2, 4

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
	○								○	○	○				

大型のマイマイで海岸から山地まで生息しています。「コベツ」というのは「臍（へそ）が小さい」ことを表しています。殻をひっくり返した時の中心を「ヘソ」と呼んでいます。このヘソの穴が小さいか、ふさがれているのでこの名前があります。



セトウチマイマイ

オナジマイマイ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Euhadra subnimbosa

選定基準 : 4

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
	○	○							○	○	○				

大型のマイマイで明らかな「ヘソ」があります。「セトウチ」は「瀬戸内」を表していて、瀬戸内地方に分布しますが、大分県や宮崎県にも生息しています。殻に筋があつたりなかつたりで、模様は変化が大きいです。



ツクシマイマイ

オナジマイマイ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Euhadra herklotsi herklotsi

選定基準 : 4

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
	○	○							○	○	○				

のべおかしいちばんおおきいマイマイといえます。これも明らかな「ヘソ」があります。「ツクシ」は「筑紫」を表していて、九州北部に多いマイマイです。ツクシマイマイも模様に変化の大きいマイマイです。特に黒っぽいものは宮崎県に多く「オオヒュウガマイマイ」という別名も付けられています。



カンドマイマイ

オナジマイマイ科

環境省 RL : 絶滅危惧Ⅰ類 宮崎県 RL : 絶滅危惧Ⅱ類

Aegista (Coelorus) kandai

選定基準 : 1, 5

河川		宅地 公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
	○								○	○	○				

全国的にも絶滅が心配され、環境省のレッドリストでは最も絶滅が心配される絶滅危惧Ⅰ類に選定されている貴重なマイマイです。この種は殻口（殻の入口）がいびつになるクチマガリマイマイの仲間です。



ウスカワマイマイ

オナジマイマイ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Acusta despecta sieboldiana

選定基準 : 4

河川		宅地 公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
	○	○												

中型のマイマイで、殻はうすく半透明なのでウスカワマイマイという名前が付いています。殻が半透明なので中の身体の色が透けて見え、身体の色が黒いと黒いカタツムリに、身体がまだら模様だとまだら模様のカタツムリに見えます。雨の日に人家のブロック塀を這っているのをよく見かけます。花や野菜の新芽や、花や葉を食べるやっかいものです。セトウチマイマイやツクシマイマイと違って、「ヘソ穴」はほとんど閉じています。



カワニナ

カワニナ科

環境省 RL : -

宮崎県 RL : -

Semisulcospira libertina

選定基準 : 4

河川		宅地 公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
○				○										

極めて普通にいる種類で、誰でもが知っている貝です。川にいるニナ（巻き貝）でカワニナです。ゲンジボタルの幼虫のエサになるのでカワニナがいる川にはゲンジボタルが飛ぶ可能性があります。川の水質判定に使われる指標生物で「少し汚い水」に棲むとされています。



マルタニシ

タニシ科

環境省 RL : 絶滅危惧Ⅱ類 宮崎県 RL : 準絶滅危惧

Cipangopaludina chinensis laeta

選定基準 : 1, 2

河川		宅地公園	農地					草地	森林						
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林	刈跡
			○					○							

水田や池・沼に棲む大型の巻き貝です。昔は水田にたくさん生息していて食料にされましたが、近年は産地・生息数ともに激減しており、宮崎県での生息地も限られています。環境省のレッドリストでは絶滅危惧Ⅱ類に選定されています。



マシジミ

シジミ科

環境省 RL : 絶滅危惧Ⅱ類 宮崎県 RL : 準絶滅危惧

Corbicula (Corbiculina) leana

選定基準 : 4

河川		宅地公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
○				○										

マシジミは昔から食べられてきた淡水に棲む二枚貝です。みそ汁にして食べると、とてもおいしいです。最近では全国的にタイワンシジミという外来種が入ってきて問題になっています。延岡市も例外ではありません。タイワンシジミとマシジミとの区別は難しいです。



ニセマツカサガイ

イシガイ科

環境省 RL : 絶滅危惧Ⅱ類 宮崎県 RL : 絶滅危惧Ⅱ類

Inversiunio yanagawensis

選定基準 : 1, 3, 5

河川		宅地公園	農地					草地	森林					
水域	陸域		ため池	水路	湿地	畑	水田		林縁	落葉	照葉	植林	クヌギ	竹林
○				○										

淡水に棲む大型の二枚貝です。殻の表面は黒色でざつざつした感じですが、幼生は魚のえらに寄生して川を上ると言われています。全国的に絶滅が心配されている貝で、環境省のレッドリストでは絶滅危惧Ⅱ類に選定されています。宮崎県での生息地は少ないです。



参考文献

- 秋田勝己・益本仁雄, 2016. 月刊むし・昆虫大図鑑シリーズ9 日本産ゴミムシダマシ大図鑑. むし社, 東京.
- 阿部永・石井信夫・金子之史・前田喜四雄・三浦慎悟・米田政明, 1994. 日本の哺乳類. 東海大学出版会, 東京.
- 阿部永・石井信夫・金子之史・前田喜四雄・三浦慎悟・米田政明, 2005. 日本の哺乳類 [改訂版]. 東海大学出版会, 東京.
- 石川忠・高井幹夫・安永智秀, 2012. 日本原色カメムシ図鑑—陸生カメムシ類 Terrestrial Heteropterans —第3巻. 全国農村教育協会, 東京.
- 石川忠, 2016. サンガメ科・PENTATOMOMORPHA, 日本昆虫目録第4巻新翅類:439-507. 日本昆虫学会, 東京.
- 井上大輔・中島淳企画編集, 2009. 福岡県の水生昆虫図鑑. 福岡県北九州高等学校魚部, 福岡.
- 井上寛・杉繁郎・黒子浩・森内茂・川辺湛・大和田守, 1982. 日本産蛾類大図鑑. 講談社, 東京.
- 猪又敏男・植村好延・矢後勝也・神保宇嗣・上田恭一郎, 2013. 日本昆虫目録第7巻鱗翅目 (セセリチョウ上科—アゲハチョウ上科). 日本昆虫学会, 東京.
- 岩槻邦男編, 1992. 日本の野生植物 シダ. 平凡社, 東京.
- 上野俊一・黒沢良彦・佐藤正孝, 1985. 原色日本甲虫図鑑 (II). 保育社, 東京.
- 内山りゅう・前田憲男・沼田研児・関慎太郎, 2002. 日本の両生爬虫類. 平凡社, 東京.
- 槐真史編, 2013. ポケット図鑑日本の昆虫 1400 ②トンボ・コウチュウ・ハチ. 文一総合出版, 東京.
- 岡島秀治・荒谷邦雄監修, 2012. 日本産コガネムシ上科標準図鑑. 学研, 東京.
- 河野耕三・成迫平五郎, 1983. 延岡市文化財調査報告書II 延岡市のオオバナムシ群落と塩沼地植物群落調査報告. 延岡市教育委員会.
- 環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室, 2015. レッドデータブック 2014—日本の絶滅のおそれのある野生生物—8植物I (維管束植物). ぎょうせい, 東京.
- 北村四郎・村田源・堀勝, 1957. 原色日本植物図鑑 草本編 1. 平凡社, 東京.
- 北村四郎・村田源, 1961. 原色日本植物図鑑 草本編 2. 平凡社, 東京.
- 北村四郎・村田源・小山鐵夫, 1964. 原色日本植物図鑑 草本編 3. 平凡社, 東京.
- 黒沢良彦・久松定成・佐々治寛之, 1985. 原色日本甲虫図鑑 (III). 保育社, 東京.
- コウモリの会編, 2011. コウモリ識別ハンドブック改訂版. 文一総合出版, 東京.
- 小松孝寛, 1992. Butterfly Watching—延岡と富士を結ぶもの—. 耕文社, 東京.
- 小松孝寛, 2016. 宮崎県の陸生カメムシ. 黒潮文庫, 宮崎.
- 佐竹義輔・大井次三郎・北村四郎・亘理俊次・冨成忠夫編, 1982. 日本の野生植物 草本I 単子葉類. 平凡社, 東京.
- 佐竹義輔・大井次三郎・北村四郎・亘理俊次・冨成忠夫編, 1982. 日本の野生植物 草本II 離弁花類. 平凡社, 東京.
- 佐竹義輔・大井次三郎・北村四郎・亘理俊次・冨成忠夫編, 1981. 日本の野生植物 草本III 合弁花類. 平凡社, 東京.
- 白水隆, 2006. 日本産蝶類標準図鑑. 学習研究社, 東京.
- 高野伸二, 2008. フィールドガイド日本の野鳥増補改訂版. 日本野鳥の会, 東京.
- 長田武正, 1976. 原色日本帰化植物図鑑. 平凡社, 東京.
- 長田武正, 1989. 日本イネ科植物図譜. 平凡社, 東京.
- 中村豊・井上伸之・福島英樹, 2015. みやざきの野鳥図鑑. 鉾脈社, 宮崎.
- Mammal Society of Japan, 2015. The Wild Mammals of Japan, Second Edition. SHOUKADOH Book Sellers, Kyoto.
- 延岡市, 2011. 第2次延岡市環境基本計画自然環境調査報告書.
- 林匡夫・木元新作・森本桂, 1984. 原色日本甲虫図鑑 (IV). 保育社, 東京.
- 林正美・宮本正一, 2005. 半翅目 Hemiptera. 川合禎次・谷田一三編, 日本産水生昆虫 科・属・種への検索, pp. 291-378. 東海大学出版会, 秦野.
- 林正美・税所康正, 2011. 日本産セミ科図鑑. 誠文堂新光社, 東京.
- 東正雄, 1995. 原色日本陸産貝類図鑑増補改訂版. 保育社, 東京.
- 日高敏隆監修・川道武男編集, 1996. 日本動物大百科 第1巻 哺乳類I. 平凡社, 東京.
- 平田正一, 1984. 宮崎県植物誌. 宮崎日日新聞社, 宮崎.
- 福田晴夫・浜栄一・葛谷健・高橋昭・高橋真弓・田中蕃・田中洋・若林守男・渡辺康之, 1982. 原色日本蝶類生態図鑑 (I). 保育社, 東京.
- 福田晴夫・浜栄一・葛谷健・高橋昭・高橋真弓・田中蕃・田中洋・若林守男・渡辺康之, 1983. 原色日本蝶類生態図鑑 (II). 保育社, 東京.
- 福田晴夫・浜栄一・葛谷健・高橋昭・高橋真弓・田中蕃・田中洋・若林守男・渡辺康之, 1984. 原色日本蝶類生態図鑑 (III). 保育社, 東京.
- 福田晴夫・浜栄一・葛谷健・高橋昭・高橋真弓・田中蕃・田中洋・若林守男・渡辺康之, 1984. 原色日本蝶類生態図鑑 (IV). 保育社, 東京.
- 松井孝爾, 1985. 日本の両生類・爬虫類. 小学館, 東京.
- 宮崎県, 2005. みやざきの野鳥. 鉾脈社, 宮崎.
- 宮崎県版レッドデータブック改訂検討委員会, 2011. 改訂宮崎県版レッドデータブック 宮崎県の保護上重要な野生生物. 宮崎県環境森林部自然環境課.
- 茂木透写真, 高橋秀男・勝山輝男監修, 2000. 山溪ハンディ図鑑 3 樹に咲く花 離弁花①. 山と溪谷社, 東京.
- 茂木透写真, 高橋秀男・勝山輝男監修, 2000. 山溪ハンディ図鑑 4 樹に咲く花 離弁花②. 山と溪谷社, 東京.
- 茂木透写真, 高橋秀男・勝山輝男監修, 2001. 山溪ハンディ図鑑 5 樹に咲く花 合弁花・単子葉・裸子植物. 山と溪谷社, 東京.
- 森本桂・林長閑, 1986. 原色日本甲虫図鑑 (I). 保育社, 東京.
- 森本桂監修, 2007. 新訂原色昆虫大図鑑 第2巻 (甲虫篇). 北隆館, 東京.

ユネスコエコパークのしくみ

ユネスコエコパークとは

正式名称: Biosphere Reserves (生物圏保存地域)

ユネスコエコパークは、生態系の保全と持続可能な利活用の調和を目的として、1976年にユネスコが開始した事業です。

「世界遺産」が手つかずの自然を守ることを原則とする一方、ユネスコエコパークは自然と人間社会の共生が目的となっています。

登録総数は120カ国の669地域にわたります。(2017年6月現在)



国内登録地: 9ヶ所(2017年6月現在)

白山(石川県、岐阜県、富山県、福井県)、大台ヶ原・大峯山・大杉谷(三重県、奈良県)、志賀高原(長野県、群馬県)、屋久島・口永良部島(鹿児島県)、綾(宮崎県)、南アルプス(山梨県、長野県、静岡県)、只見(福島県)、祖母・傾・大崩(大分県、宮崎県)、みなかみ(群馬県、新潟県)

3つの機能と地域

保存機能

(生物多様性の保全)

人間の干渉を含む生物地理学的区域を代表する生態系を含み、生物多様性の保全上重要な地域であること。

学術的 研究支援

持続可能な発展のための調査や研究、教育・研修の場を提供していること。

経済と 社会の発展

自然環境の保全と調和した持続可能な発展の国内外のモデルとなりうる取組が行われていること。

それぞれの機能は独立のものではなく、ユネスコエコパークを相互に強化する関係です。
この3つの機能を果たすために3つの地域を設定しています。

核心地域

自然環境を厳格に保護しなければならない地域

緩衝地域

核心地域と移行地域の間のクッションとして、人間活動から核心地域を保護するための地域

移行地域

人が暮らしを営み、環境に配慮した産業活動など持続可能な発展を目指す地域





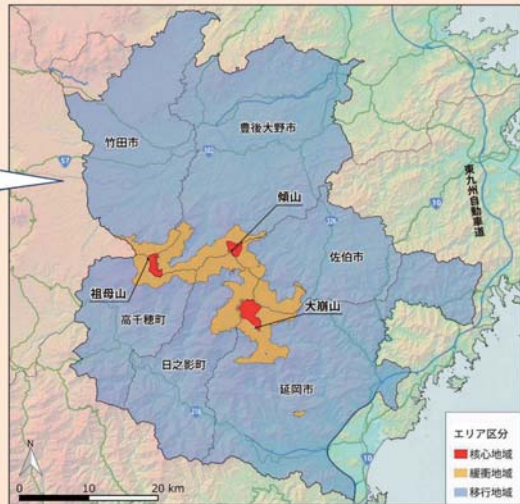
Sobo, Katamuki
and Okue
Biosphere Reserve

そぼ かたむき おおくえ 祖母・傾・大崩 ユネスコエコパーク

ユネスコエコパークの紹介ページは、祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク推進協議会が作成したパンフレットの一部を許可を得て掲載しています。

大分県と宮崎県にまたがる祖母・傾・大崩山系とその周辺地域は、独特な景観美を有する特有の地形地質によって、多様かつ貴重な生態系が発達しています。また、この豊かな自然を人々が敬い、守り、その恵みを上手に活用しながら暮らしてきた地域です。

祖母・傾・大崩ユネスコエコパークゾーニング図▶



国指定特別天然記念物「国上動物植物」行政指定(大分県)、「国上動物植物」行政指定(宮崎県)、「ユネスコ世界生物圏地域」行政指定(大分県)、「ユネスコ世界生物圏地域」行政指定(宮崎県)、「ユネスコ世界生物圏地域」行政指定(大分県)、「ユネスコ世界生物圏地域」行政指定(宮崎県)。

祖母・傾・大崩ユネスコエコパークの活動理念

尖峰と渓谷が育む森と水、いのちの営みを次世代へ
～自然への畏敬をこめて～

祖母・傾・大崩ユネスコエコパークでは、登録を契機として、この地域の豊かな自然環境のほか、自然への畏敬の念とともに発展を遂げてきた人々の営みを、しっかりと次世代へ継承していくことを目指します。

取組の基本方針

基本方針1
貴重な生態系の持続的な保全
① 調査研究の推進による保全機能の充実
② 地域住民主体の保全活動の推進

祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク

基本方針2
学術的研究や調査・研修への支援
① 学術研究体制の構築による調査研究の推進
② 地域との連携によるESDの推進
③ 国内外の課題解決のモデルとしての貢献

基本方針3
自然と共生した持続可能な発展
① 時代に即した持続的利活用による地域の発展
② 次世代の担い手の確保、育成

祖母・傾・大崩ユネスコエコパークでは、3つの機能を十分に発揮するため、上記の基本方針に沿った取組を、関係機関が一体となって進めています。

祖母・傾・大崩山系の自然的特徴



国指定特別天然記念物。日本固有種で九州地域では絶滅が危惧されています。



祖母・傾・大崩山系の溪流にのみ生息する固有種で、2014年に新種として記載されました。



絶滅が危惧されているオオムラサキは、鮮やかな色合いが特徴で日本の国蝶にもなっています。



黄色いラッパ状の花が特徴のソハヤキ要素の植物です。絶滅が危惧されています。



様々な植生の垂直分布が見られる祖母・傾・大崩山系の奥山では、このようなブナの巨木も見られます。



標高1,000m以上の高山で見られる九州特産種で、春には多くの登山者を魅了します。



鋭く尖った稜線や岩壁など荒々しい姿を持つ祖母山は、地域の人々の畏敬の念も集めてきました。



奇岩と清流で知られる見立渓谷は、秋には紅葉で鮮やかに染まります。



花崗岩の岩壁が圧巻の大崩山は、春にはアケボノツツジが彩りを添えます。

索引

ア

アオゲラ	33
アオサギ	30
アオダイショウ	47
アオバズク	31
アオバセセリ	52
アカガネサルハムシ	77
アカギツネ	23
アカスジカメムシ	82
アカスジキンカメムシ	82
赤トンボ類	66, 67
アカネズミ	26
アカハライモリ	42
アキアカネ	66
アゲハモドキ	60
アケビ	17
アサヒナカワトンボ	64
アズキガイ	86
アブラコウモリ	23
アブラゼミ	83
アライグマ	26
イカリモンガ	63
イカル	40
イシガケチョウ	58
イチモンジチョウ	55
ウグイス	36
ウスカワマイマイ	89
ウスバキトンボ	67
ウラギンシジミ	55
ウラギンヒョウモン	56
ウンヌケモドキ	12
エサキモンキツノカメムシ	82
エナガ	36
エビネ	16
オオアメンボ	79
オオイタサンショウウオ	50
オオキンカメムシ	81
オオシオカラトンボ	66
オオセンチコガネ	72
オオゾウムシ	77
オオトビサシガメ	80
オオバネムノキ	20
オオミズアオ	60
オオルリ	38
オシドリ	28
オナガアゲハ	53
オナガカンアオイ	18
オニヤンマ	65

カ

カイツブリ	29
貝類	85
カケス	34
カジカガエル	45
カナブン	73
カブトムシ	72
ガムシ	70
カメムシ目	78
カヤネズミ	25
カルガモ	28
カワガラス	37
カワセミ	32
カワニナ	89
カワラヒワ	39
カンアオイ類	18, 19
カンダマイマイ	89
キイトトンボ	65
キオン	15
ククガシラコウモリ	22
キジ	28
キジバト	29
キセキレイ	39
キタテハ	57
キンチャクアオイ	19
キンモンガ	60
キンラン	16
クチナシ	20
クチバズメ	63
クモガタヒョウモン	56
ゲンバイトンボ	64
ゲンジボタル	74
ゲンノショウコ	12
コウチュウ目	68
コウベモグラ	22
コウホネ	6
コオイムシ	78
コガタノゲンゴロウ	70
コガタブチサンショウウオ	50
コギシギシ	11
コクワガタ	72
コゲラ	32
コサギ	30
コシマゲンゴロウ	69
コジュケイ	40
コナギ	8
コノシメトンボ	67
コベソマイマイ	88
ゴマクサ	14

ゴマダラチョウ	59
コムスジ	57
コムラサキ	59
昆虫類	51

サ

サイヨウシャジン	14
ササゴイ	29
サシバ	31
サツマニシキ	62
サトキマダラヒカゲ	59
サンコウチョウ	33
サンショウクイ	33
サンヨウアオイ	19
シイボルトコギセル	87
シオカラトンボ	66
シオカラトンボ類	66
シジュウカラ	35
シマゲンゴロウ	69
シマヘビ	48
ジムグリ	47
ジャコウアゲハ	52
シュレーゲルアオガエル	44
ジョウビタキ	38
植物	5
ショウジョウトンボ	65
シロスジカミキリ	76
シロテンハナムグリ	73
シロバナタンポポ	14
シロハラ	37
シロマダラ	48
シンジュサン	62
スズメ	38
セキシウモ	6
セグロセキレイ	39
セトウチマイマイ	88
セリ	11
センリョウ	20
ソボサンショウウオ	50

タ

タイコウチ	78
タイリンアオイ	19
タカチホヘビ	47
タガメ	79
タガラシ	10
タコノアシ	9
タテハモドキ	58

タヌキ	24
タマムシ	73
タラノキ	17
タワヤモリ	49
チョウ目	52
ツクシアオイ	18
ツクシマイマイ	88
ツグミ	37
ツチガエル	43
ツバメ	35
ツバメシジミ	55
ツマキチョウ	54
ツマグロキチョウ	54
ツワブキ	15
トノサマガエル	43
トビ	31
トビイロサシガメ	80
鳥類	27
トンボ目	64

ナ

ナガエミクリ	6
ナツアカネ	66
ナナホシテントウ	75
ナミギセル	87
ニイニイゼミ	83
ニセマツカサガイ	90
ニホンアカガエル	43
ニホンアナグマ	25
ニホンアマガエル	42
ニホンイシガメ	45
ニホンイタチ	24
ニホンカナヘビ	46
ニホンキマワリ	75
ニホンザル	23
ニホンスッポン	45
ニホンテン	24
ニホントカゲ	46
ニホンノウサギ	26
ニホンヒキガエル	42
ニホンマムシ	49
ニホイヤモリ	46
ニワハンミョウ	68
ヌマガエル	44
ノコギリクワガタ	71
ノコギリヒラタカメムシ	80
ノシメトンボ	67

ハ

ハイイロゲンゴロウ	69
ハグロトンボ	64
ハルゼミ	83
ハンミョウ	68
ヒオドシチョウ	57
ヒグラシ	84
ヒゲコメツキ	74
ヒシ	7
ヒバカリ	48
ヒバリ	35
ヒミズ	22
ヒメアカタテハ	58
ヒメアカネ	67
ヒメオカモノアラガイ	86
ヒメクロオトシブミ	77
ヒメコウガイゼキショウ	8
ヒメシロアサザ	7
ヒメノボタン	13
ヒメハルゼミ	84
ヒメボタル	75
ヒメミズスマシ	70
ヒメミソハギ	9
ヒメヤママユ	61
ヒユウガサンショウソウ	17
ヒユウガトウキ	16
ヒョウモンエダシヤク	63
ヒラタクワガタ	71
ビロードキビ	12
ヒロクチコギセル	87
ヘイケボタル	74
ベッコウサンショウウオ	50
ベニカミキリ	76
ベニシジミ	54
ベニツチカメムシ	81
ホオジロ	40
ホシクサ	8
ホシベニカミキリ	76
ホシホウジャク	61
ホタルガ	62
ホトトギス	30
哺乳類	21

マ

マイコアカネ	67
マイマイカブリ	68
マシジミ	90
マツカサスキ	9

マツモムシ	79
マユタテアカネ	67
マルタニシ	90
マルバノサウトウガラシ	10
マルミカンアオイ	18
ミカドアゲハ	53
ミズオオバコ	7
ミズカマキリ	78
ミズマツバ	10
ミチヤナギ	11
ミドリヒョウモン	56
ミヤマアカネ	67
ミヤマカラスアゲハ	53
ミヤマクワガタ	71
ミヤマセセリ	52
ミンミンゼミ	84
ムササビ	25
メジロ	36
メスグロヒョウモン	56
モズ	34

ヤ

ヤマアカガエル	44
ヤマカガシ	49
ヤマガラ	34
ヤマクマガイ	86
ヤマゼミ	32
ヤママユ	61
ヨコヅナツチカメムシ	81

ラ

リスアカネ	67
リュウノウギク	15
両生類・爬虫類	41
リンドウ	13
ロクオンソウ	13

あとがき

この「のべおか里山種ガイドブック」は延岡市 SATOYAMA 保全推進会議の生物多様性調査専門委員会がまとめたものです。延岡市 SATOYAMA 保全推進会議は、生物多様性条約 COP10（2011年、名古屋市）で提唱された SATOYAMA イニシアティブに賛同して2012年に設立されました。SATOYAMA イニシアティブとは生物多様性を保全するために、原生的な自然を保護するだけでなく、人間活動が行われている二次的自然地域において、自然資源の持続可能な利用を実現することを目的としています。そこで、延岡市 SATOYAMA 保全推進会議では生活の場である延岡市の里山にどのような動植物が生息しているのかを調べてきました。このガイドブックでは、その調査結果をもとに、いくつか代表的な種を「のべおか里山種」として紹介しています。これらの中には宮崎県のレッドリストに掲載されているものもありますが、普段の生活の中で少し注意すれば見つかるものが多いです。

また、今年延岡市の一部が祖母・傾・大崩ユネスコエコパークに登録されました。ユネスコエコパークは核心地域、緩衝地域、移行地域という3つの地域からなります。核心地域と緩衝地域は手付かずの自然を残すことを目指していますが、移行地域は「経済と社会の発展」と「生物多様性保全」の調和を目指しています。まさに SATOYAMA イニシアティブの考え方と同じで、延岡市の里地里山のほとんどは祖母・傾・大崩ユネスコエコパークの移行地域と重なります。どちらの活動も生物多様性の状況がどのようになっていくのか見守ることが重要です。延岡市 SATOYAMA 保全推進会議の生物多様性調査専門委員会は、五ヶ瀬川流域全体を考えながら、この地域における里山保全のモニタリングと普及啓発に少しでも貢献できればと考えています。

（延岡市 SATOYAMA 保全推進会議 専門アドバイザー 小松孝寛）

執筆者（文・写真）

延岡市 SATOYAMA 保全推進会議 生物多様性調査専門委員会

専門アドバイザー（平成23年～平成28年）

（植 物） 成迫 平五郎

（哺乳類） 岩切 康二

（鳥 類） 稲田 菊雄

（両生類・爬虫類） 末吉 豊文

（昆 虫 類） 安本 潤一，小松 孝寛，柳田 恒一郎，岩切 康二

（貝 類） 西 邦雄

写真協力

（鳥類：ホトトギス） 福島 英樹 （昆虫類：キイトトンボ） 古中 隆裕 （昆虫類：ナツアカネ・

マイコアカネ・リスアカネ） 高野 徹 （哺乳類：アライグマ） 宮崎県環境森林部自然環境課

編集協力（編集全般） 岩切環境技研株式会社

（ユネスコエコパーク紹介） 祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク推進協議会

のべおか里山種ガイドブック ～五ヶ瀬川下流域の里山に生息する野生動植物～

2017年12月1日初版第1刷発行

編 集：延岡市 SATOYAMA 保全推進会議

発 行：延岡市

〒882-5686 宮崎県延岡市東本小路2番地1

延岡市 SATOYAMA 保全推進会議がこれまでに行ってきた「のべおか里山種」に関する調査活動は、宮崎県森林環境税及び旭化成株式会社からの支援により実施いたしました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

©2017 Nobeoka-city SATOYAMA Conservation Promotion Council

チキナン番長 延観協許諾（無償）No.17-003





のべおか里山種
ガイドブック

